令和5年度
福祉人材確保・育成に関する調査報告書

～福祉の仕事の魅力向上・発信に向けた
世田谷区福祉事業所調査から～

令和6年3月

世田谷区福祉人材育成・研修センター

福祉人材確保・育成に関する調査・研究事業（以下「研究事業」という）は、世田谷区福祉人材育成・研修センター（以下「研修センター」という）が福祉人材施策を検討する基礎資料とするため実施する。

本報告書では、令和５年度世田谷区福祉事業所調査の結果及び研修センターの取組み,令和６年度の取組みについて報告する。

目 次

Ⅰ　世田谷区福祉人材育成・研修センターの概要

1　世田谷区福祉人材育成・研修センターの取組み　・・・3

2　世田谷区の概要　・・・4

Ⅱ　世田谷区の福祉人材を取り巻く状況と課題

1　福祉・医療分野での有効求人倍率の状況　・・・7

2　世田谷区の福祉人材施策　・・・8

3　福祉分野の計画における福祉人材対策　・・・9

4　福祉人材確保・育成に関する調査概要と調査結果　・・・10

5　福祉の仕事の魅力向上・発信　・・・19

6　特別養護老人ホーム外国人職員交流会　・・・20

7　令和 5 年度の研修センターの主な取組み　・・・24

令和 6 年度事業体系図　・・・40

＜資料＞

1　都内地域型研修機関　・・・42

2　令和 5 年度世田谷区福祉人材育成・研修センター事業実施状況・・44

＜参考＞世田谷区福祉人材育成・研修センターと関係機関等関連図・・・48

Ⅰ　世田谷区福祉人材育成・研修センターの概要

1　世田谷区福祉人材育成・研修センターの取組み

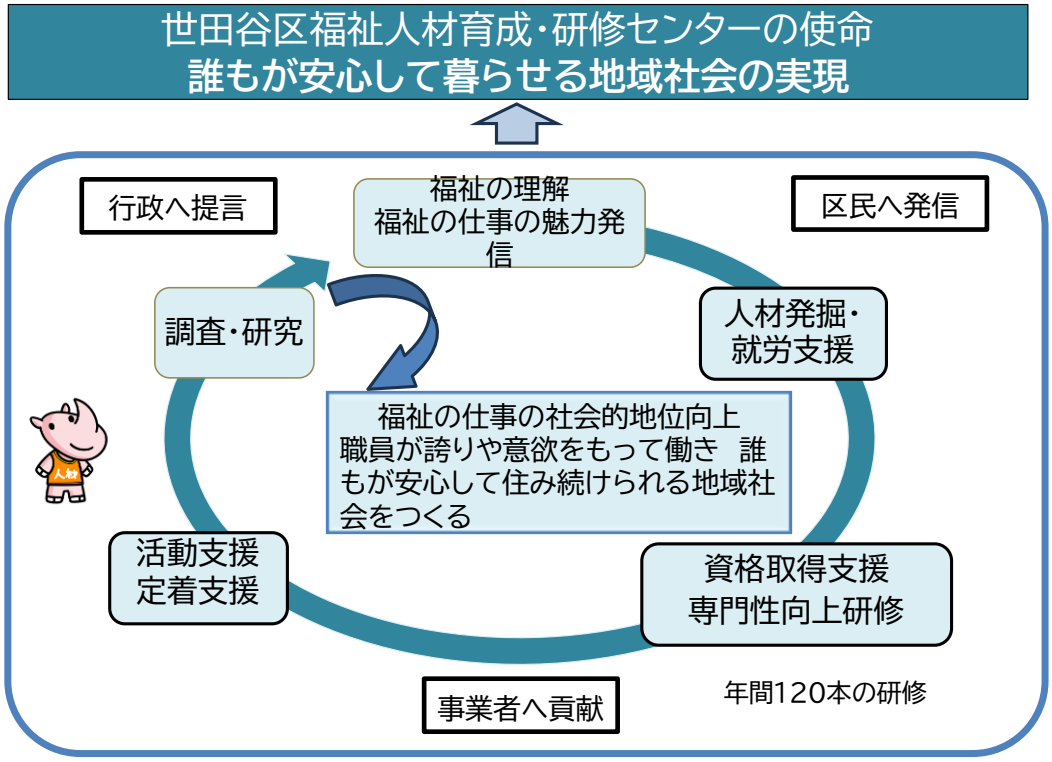
～誰もが住み慣れた地域で 安心して住み続けられる 地域づくりを目指して～

世田谷区福祉人材育成・研修センターは、平成 19 年 4 月、世田谷区が福祉人材の確保・育成・定着支援を総合的に推進するため設置し、社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団が運営している。研修センターは、福祉の理解促進、福祉のしごとの魅力発信、高齢福祉、障害福祉、子ども・子育て、医療福祉連携等年間 120 本を超える研修、調査・研究事業など、世田谷区の福祉人材の確保・育成・定着支援を総合的に推進している。

少子・高齢社会の進展により、生産年齢人口が減少し、福祉・介護人材不足は重大な課題となっている。また、単身世帯の増加や 8050 問題、ヤングケアラーなど福祉ニーズは複雑・多様化し、地域包括ケアシステムの深化や地域共生社会の構築など求められている。

令和 2 年の新型コロナ・ウイルス感染症の拡大により、研修センターでは、インターネットを活用した研修を取り入れ、受講者からは「日程調整がしやすい」「移動時間が節約できる」「繰り返し学ぶことができる」など好評をいただき、受講者数は以前の 2 倍となっている。一方、グループワークや実技演習などは、集合研修とするなど、研修内容に合わせた研修形態で実施している。

誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けられる地域づくりの実現に向け、研修センターでは「区民に発信」「事業者に貢献」「行政へ提言」の三本柱で、5 つの取組みを推進していく。



2　世田谷区の概要

世田谷区の概要　令和6年1月

総　人　口	918,141人
世帯数(1世帯平均)	496, 436世帯 (1.85人)
0～14歳	104, 936人 (11.43%)
15～64歳	625, 038人 (68.08%)
65歳以上	188,167人 (20.49%)
介護保険の認定 (高齢者) ※令和5年10月	41,480人 人口187,700人 22. 01%
認知症症状の高齢者 (日常生活自立度Ⅱ以上) ※令和3年4月	24,090人

100歳以上621人
最高年齢は111歳

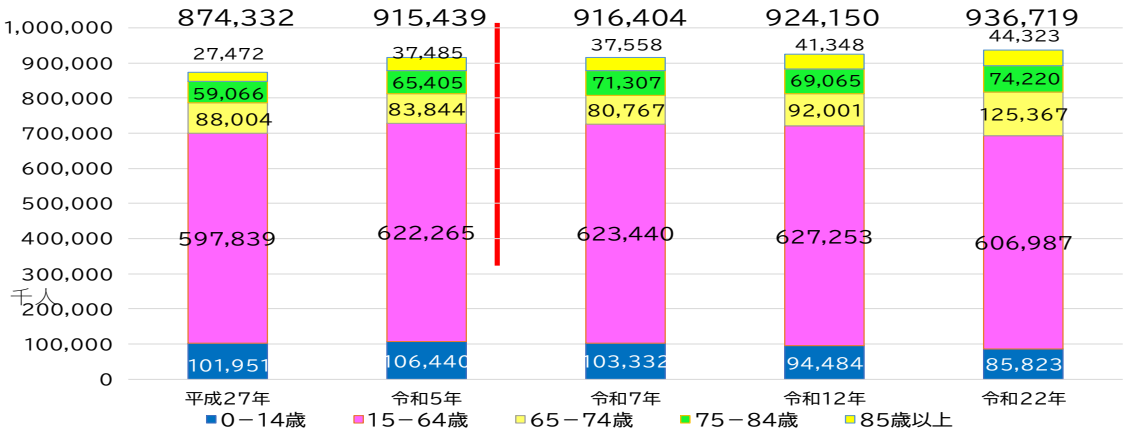
平均寿命 令和2年 /平成27年 国勢調査	男性	83. 2歳/82.8歳 (全国14位/3位)	障害者　令和4年4月 (自立支援医療・難病含)	45,800人
	女性	88. 9歳 /88.5歳 (全国6位/8位)	生活保護受給者 令和4年3月(保護率)	10,104人 (11.0‰)

(1) 世田谷区の福祉人材を取り巻く状況と課題

1) 世田谷区将来人口推計

世田谷区の将来人口推計によると、団塊の世代が 75 歳以上（後期高齢者）となる令和 7 年以降も高齢者の占める割合が増える一方で、15～64 歳（生産年齢人口）と 0～14 歳（年少人口）は一貫して減少する。　　出展：世田谷区人口推計（令和５年７月）

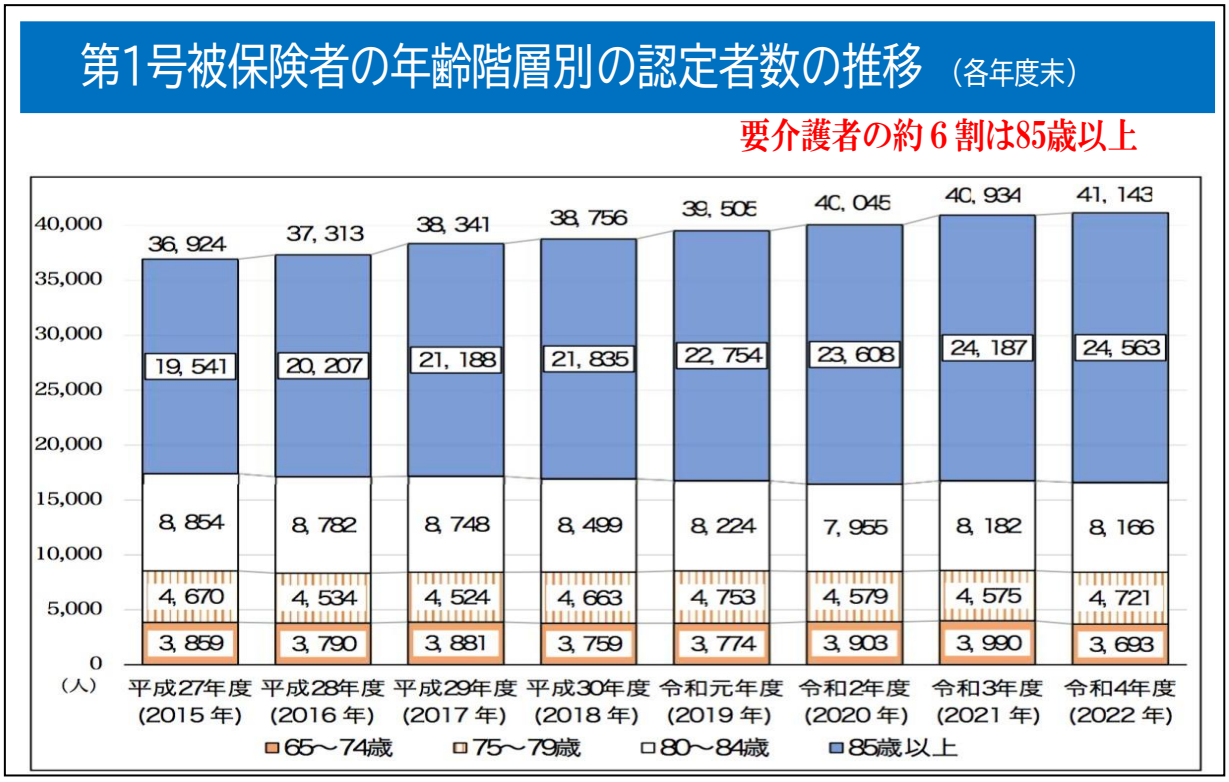
世田谷区の年齢構成別人口推計　令和5年7月）　毎年1月1日



	平成27年 2015年	令和2年 2020年	令和5年 2023年	令和7年 2025年	令和12年 2030年	令和17年 2035年	令和22年 2040年
総人口	874,332	917,486	915,439	916,404	924,150	931,336	936,719
高齢者人口(人)	174,542	184,244	186,734	189,632	202,414	222,032	243,910
65～74歳	88,004	86,375	83,844	80,767	92,001	111,032	125,367
75歳以上	86,538	97,869	102,890	108,864	110,412	111,000	118,543
高齢化率(%)	20.0	20.1	20.4	20.7	21.9	23.8	26.0

2）第１号被保険者の年齢階層別の認定者の推移

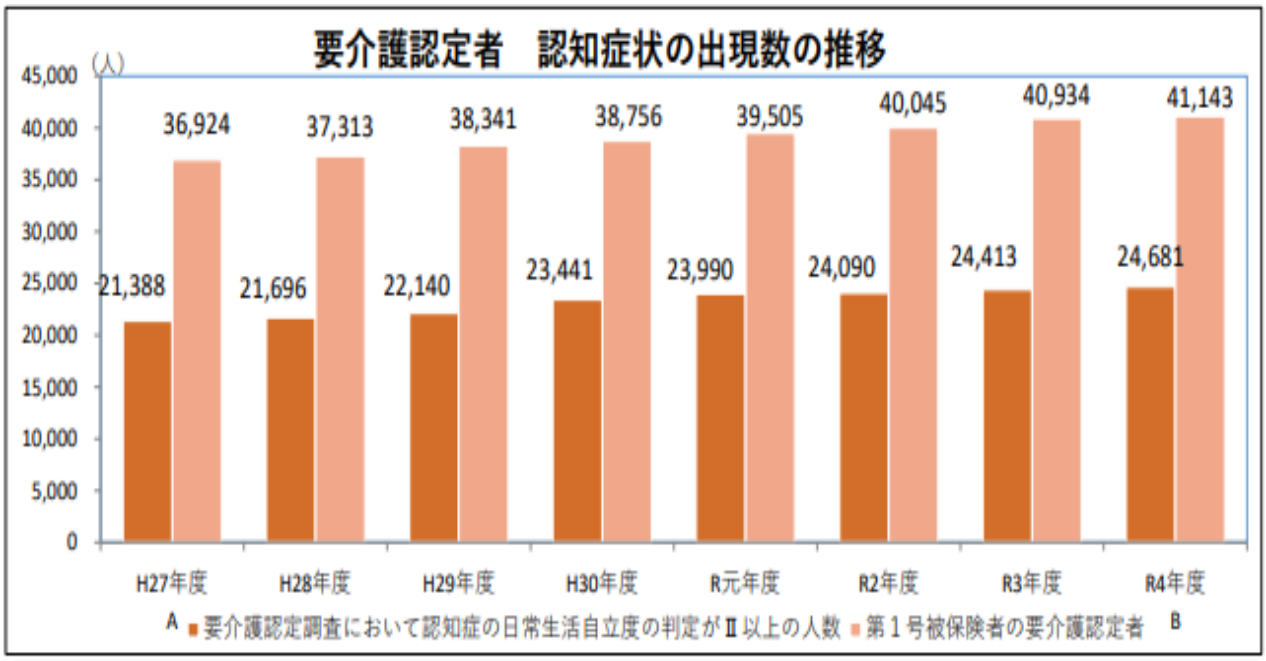
６５歳以上の第１号被保険者の介護保険の要介護（要支援）認定者は、増加し続けており、令和４年度には 41,100 人を超えている。要介護認定者の約 6 割は 65 歳以上となっている。



第9期世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

3）要介護認定者　認知症状の出現数の推移

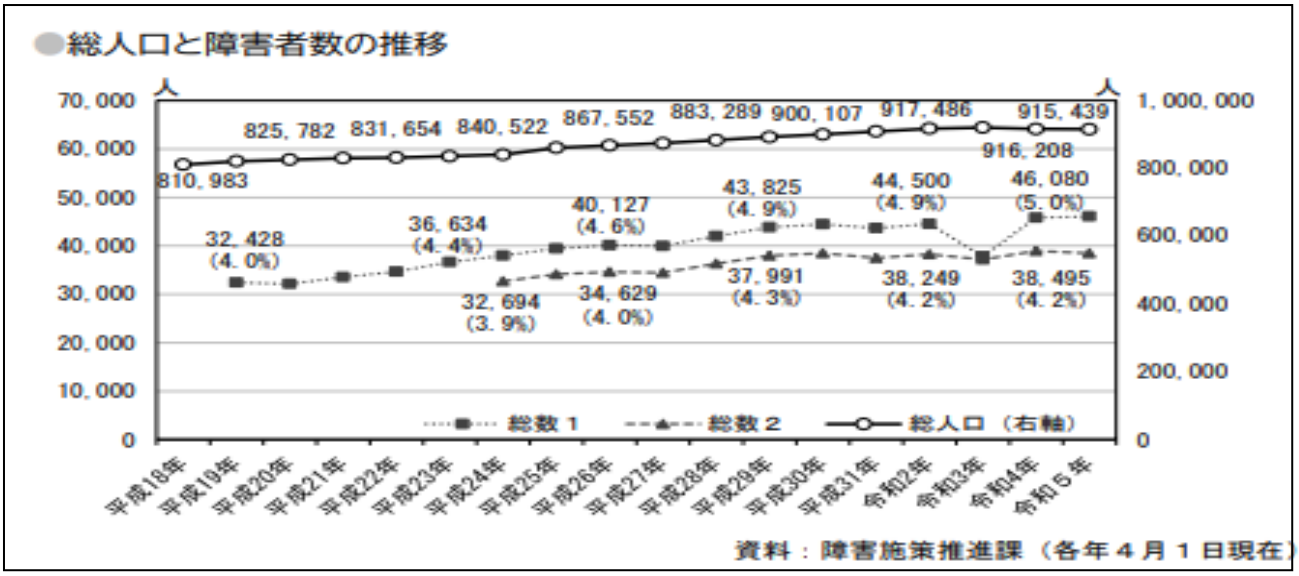
要介護認定者の約 6 割は何らかの認知症症状を呈している。



出典：要介護認定調査において認知症の日常生活自立度の判定がⅡ以上の人数（認定調査データ）
第１号被保険者の要介護認定者（介護保険事業状況報告）

４）障害者数の推移

障害者数は総数１・総数２のいずれも一貫して増加傾向にあり、総数１は平成 19 年 32,428 人から令和５年は 46,080 人へと約 13,000 人の増加となり、人口比では 4.0%から 5.0%へ増加している。総数２では、平成 24 年の 32,694 人から令和５年の 38,495 人と約 6,000 人の増加となっており、人口比では 3.9%から 4.2%へ増加している。



※総数１、総数２の下のカッコ内の数字は総人口に占める割合

※総数１は、身体障害者手帳所持者・愛の手帳所持者（重複除く）・自立支援医療（精神通院医療）・難病

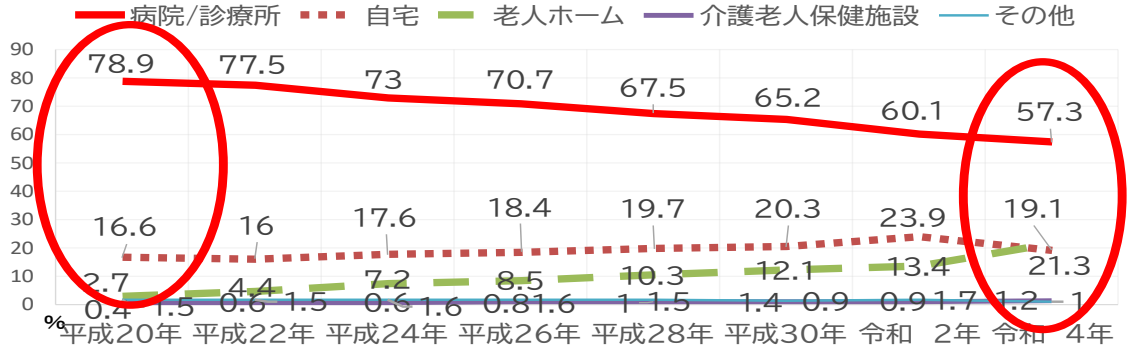
※令和３年の一時的な減少は令和２年度の新型コロナウイルス感染症により自立支援医療（精神通院医療）の更新申請が不要となったため

５）区民の死亡場所の推移

病院・診療所は平成 20 年 78.9%が令和４年 57.3%へ減少し、自宅は平成 20 年 16.6%が令和４年 19.1%に増加。老人ホームは、2.7%が 21.3%に増加。令和４年は老人ホームが初めて自宅を上回った。

区民の死亡場所の推移　資料：死亡統計集計表

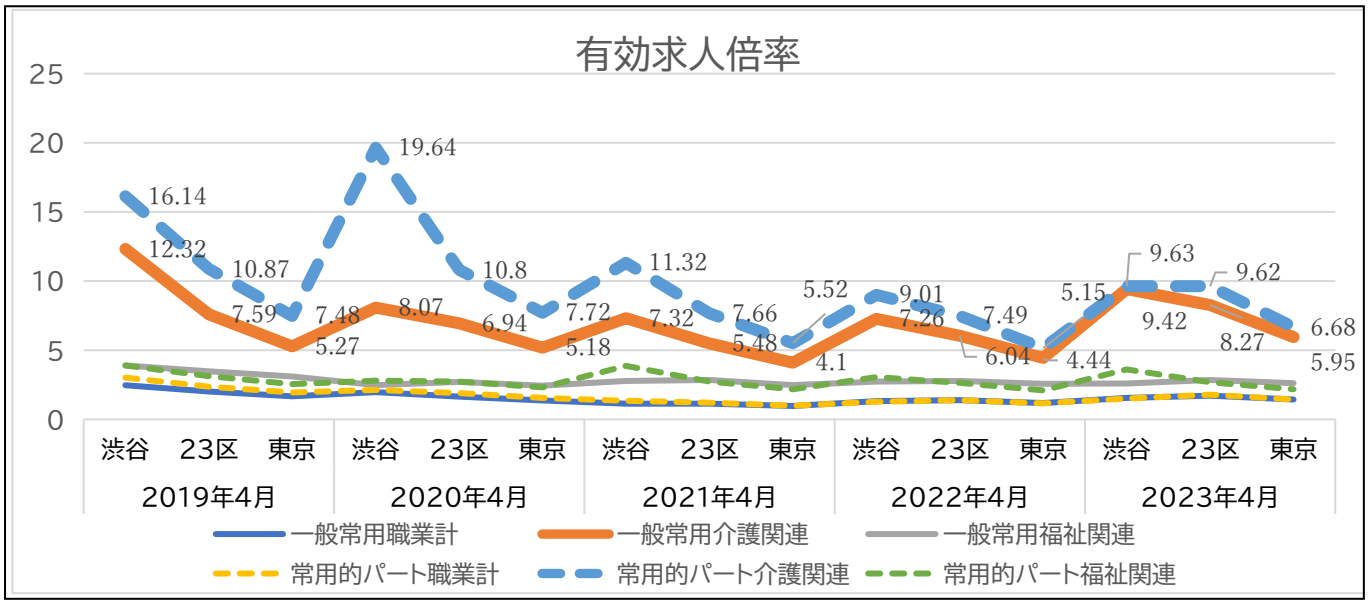
年	病院診療所	自宅	老人ホーム	介護老人保健施設	その他	合計（人）
平成20年	4,530	950	154	21	84	5,739
平成22年	4,560	939	259	38	86	5,882
平成24年	4,506	1,084	445	40	96	6,171
平成26年	4,510	1,173	542	53	105	6,383
平成28年	4,301	1,254	657	66	95	6,373
平成30年	4,457	1,388	830	64	99	6,838
令和　2年	4,096	1,625	915	63	114	6,813
令和　4年	3,823	1,272	1423	82	68	6,668



Ⅱ　世田谷区の福祉人材を取り巻く状況と課題

1　福祉・医療分野での有効求人倍率の状況

世田谷区が含まれるハローワーク渋谷での介護関連の有効求人倍率は、2019 年一般常用 12.32、非正規 16.14 が、2022 年には一般常用 9.42、非正規 9.63 と減少しているが、東京全体と比べると、いずれも高い数値となっている。



	2019 年 4 月			2020 年 4 月			2021 年 4 月			2022 年 4 月			2023 年 4 月		
	渋谷	23 区	東京	渋谷	23 区	東京	渋谷	23 区	東京	渋谷	23 区	東京	渋谷	23 区	東京
一般常用職業計	2.47	2.02	1.68	1.98	1.64	1.38	1.13	1.14	0.97	1.32	1.39	1.18	1.55	1.71	1.43
一般常用介護関連	12.32	7.59	5.27	8.07	6.94	5.18	7.32	5.48	4.10	7.26	6.04	4.44	9.42	8.27	5.95
一般常用福祉関連	3.90	3.47	3.11	2.48	2.71	2.44	2.78	2.84	2.48	2.73	2.79	2.58	2.60	2.86	2.63
常用的パート職業計	3.02	2.37	1.95	2.14	1.91	1.56	1.34	1.20	0.99	1.27	1.39	1.16	1.50	1.79	1.44
常用的パート介護関連	16.14	10.87	7.48	19.64	10.80	7.72	11.32	7.66	5.52	9.01	7.49	5.15	9.63	9.62	6.68
常用的パート福祉関連	3.90	3.13	2.54	2.81	2.74	2.31	3.87	2.73	2.19	3.07	2.65	2.10	3.62	2.69	2.18

介護関連：福祉施設指導専門員、福祉施設寮母・寮父、ケアマネジャー、家政婦（士）、ホームヘルパー等

福祉関連：保健師、助産師、看護師、理学・作業療法士、視能・言語聴覚士、福祉相談指導員等

2　世田谷区の福祉人材施策

事業名	開始年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
（１）研修体制の構築				
世田谷区福祉人材育成・研修センター	平成 19 年度			
（２）研修費助成制度				
特別養護老人ホーム等職員研修費助成	平成 20 年度	36 事業所	47 事業所	45 事業所
登録ヘルパー等研修受講助成	平成 21 年度	19 人	59 人	133 人
（３）資格取得支援事業				
介護職員初任者研修課程等受講料助成	平成 21 年度	75 人 障害含	高齢 117 人 障害　25 人	高齢 70 人 障害 18 人
介護福祉士実務者研修受講料助成	平成 29 年度	108 人障害含	高齢 126 人 障害　12 人	高齢 121 人 障害　23 人
介護福祉士資格取得費用助成	平成 29 年度	49 人障害含	高齢 35 人 障害　8 人	高齢 58 人 障害　5 人
（４）定着支援				
世田谷区介護職員等合同入職式	平成 29 年度			
世田谷区介護従事者等永年勤続表彰式	平成 29 年度			
デジタル環境整備促進事業	令和 3 年度		９法人 10 事業所	1 法人 1 事業所
（５）人材確保支援				
介護職員等宿舎借り上げ支援	平成 30 年度 令和３年度	2 事業所 5 戸	３事業所 10 戸	4 法人 18 戸
介護人材採用活動経費助成	令和元年度	120 法人	119 法人	109 法人
特別養護老人ホーム介護職員宿舎借り上げ支援	令和 2 年度	9 事業所 21 戸	12 事業所 30 戸	14 事業所 36 戸
地域密着型サービス事業所宿舎借り上げ支援事業	令和４年度			6 事業所 11 戸

○認知症介護サポート事業（特養ホーム等介護ロボット導入経費助成）（平成 30 年度～令和元年度終了）

○訪問系介護事業所への電動アシスト自転車購入費用助成（令和 2 年度のみ 175 事業所 297 台）

3　福祉分野の計画における福祉人材対策

（１）第９期世田谷区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和６～８年度）

●基本理念

「住み慣れた地域で支えあい、自分らしく安心して暮らし続けられる地域社会の実現」

●施策展開の考え方

（１）参加と協働の地域づくり

（２）これまでの高齢者観に捉われない施策

（３）地域包括ケアシステムの推進

●計画目標Ⅰ 区民の健康寿命を延ばす

計画目標Ⅱ 高齢者の活動と参加を促進する

計画目標Ⅲ 安心して暮らし続けるための医療・介護・福祉サービスの確保を図る

●重点取組み （１）健康づくりと介護予防の一体的な推進

取組み：保健事業と介護予防の一体的な取組みの推進、食・口と歯の健康づくりの質の向上、 介護予防のための外出・社会参加促進の取組み

●重点取組み（２）高齢者の生きがいづくり

取組み：高齢者の社会参加の促進への支援、総合的な連携枠組みの整備の検討、地域人材の発掘・育成・活用

●重点取組み（３）在宅医療・介護連携の推進

取組み：在宅医療・ＡＣＰの普及啓発、在宅医療・介護のネットワークの構築、在宅医療・介護関係者間の情報の共有支援

➡５ 介護人材の確保 及び育成・定着 支援

急速な高齢化による介護サービス需要の増大と生産年齢人口の減少が見込まれ、介護人材の確保は喫緊の課題です。誰もが自分らしく地域で安心して暮 らし続けられるよう、介護サービスの安定的な供給を図るため、福祉・介護 人材の確保及び育成・定着支援のための施策を総合的に展開していきます。

①さらなる介護職の魅力発信 ②多様な人材の確保・育成

③働きやすい環境の構築に向けた支援

（２）せたがやインクルージョンプラン -世田谷区障害施策推進計画（令和６～８年度）

<これまでの名称>

せたがやノーマライゼーションプラン
-世田谷区障害施策推進計画

<本計画からの新名称>

せたがやインクルージョンプラン
-世田谷区障害施策推進計画

●基本理念

障害のある人もない人も お互いの人格や個性を尊重して 住み慣れた地域で支えあい 選択した自分らしい生活を 安心して継続できる社会の実現

●行動コンセプト

「当事者の選択を支える」環境整備 情報アクセスのしやすさ、体験や選択の機会の確保、多様な福祉サービスの整備、既存サービスで の障害児者の受入れ、再利用を尊重する仕組み 。「選択」する ための支援、理解しやすい情報提供、選択肢を提示、選択の結 果と選び直しを尊重

●重点取組１ 医療的ケア児（者）の支援

●重点取組２ 精神障害施策の充実
●重点取組３ 人材の確保・定着
<取組の方向性>
・障害児者の自立を支援する技術やチームワークを学ぶ研修の充実
・ボランティアを含めた新たな人材の確保に向け、障害理解を進めるための施策の推進
・施設や事業所の職員等の心身の健康を守る取組
●重点取組４ 災害への備えの推進
●重点取組５ 情報コミュニケーション・ アクセス手段の確保
●重点取組６ インクルーシブ教育推進 に向けた土台づくり
●重点取組７ 障害理解促進・差別解消

４　福祉人材確保・育成に関する調査概要と調査結果

調査目的	喫緊の課題である福祉人材確保に向けて、事業所の取組状況と課題等を調査し、解決策を探るとともに、好事例を収集し情報共有を図る。令和２年度から実施している特別養護老人ホームでの介護ロボット、外国人人材等調査の経年変化を調査する。
調査日程	令和５年１２月２５日～令和６年２月１５日
調査方法	配付：FAX またはメール送信 回収：FAX・メール・フォーム回答
対象事業所及び回答事業所	**配付事業所数：**1,257 事業所（高齢；事業所　障害；事業所） **回答事業所　：** 443 事業所（高齢；205 事業所　障害；110 事業所） **回収率　　：** 35.2%　（高齢；22.1%　　障害；27.9%） **回答事業所数：** 597 事業所 （高齢；468 件　　障害；129 件）
事業所種別	**高齢分野：**訪問介護、通所介護、訪問看護、短期入所、特定施設入居者生活助護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能・看護小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、居宅介護支援、地域包括支援センター **障害分野：**居宅介護・重度訪問介護、同行援護、行動援護、生活介護、自立訓練、GH、短期入所、児童発達支援、放課後等デイ、相談支援
調査項目	（１）介護ロボットの状況（２）ICT の導入状況（３）外国人職員在籍状況 （４）人材確保・定着支援（５）社会福祉士等実習生・インターン等受入れ （６）補助的業務の活用　等

・

（1）回答状況

高齢分野

事業種別	回答数	配付数	回答割合
特養ホーム	29	29	100.0%
短期入所	23	33	69.7%
老健	5	9	55.6%
GH	24	49	49.0%
特定施設入居者	17	50	34.0%
看多機・小多機	13	20	65.0%
通所介護・リハビリ	88	230	38.3%
訪問介護	89	287	31.0%
定期巡回	4	8	50.0%
訪問看護・リハビリ	43	141	30.5%
居宅介護支援	122	272	44.9%

障害分野

事業種別	件数	事業種別	件数
居宅介護・重度訪問介護	23	地域活動支援センター	2
同行援護	6	GH	7
行動援護	23	短期入所	7
生活介護	11	児童発達支援	6
自立訓練	2	放課後等デイ	6
就労移行支援	8	相談支援	8
就労継続支援(A・B)	20		

（２）事業所職員の過不足状況

多いに不足	76 件	17.2%	73.0%	適切	117 件	26.4%
不足	134 件	30.3%		過剰	2 件	0.5%
やや不足	113 件	25.5%		適切・過剰		26.9%

高齢分野

入所系	多いに不足	14	19.4%	87.5%
	不足	27	37.5%	
	やや不足	22	30.6%	
	適切	9	12.5%	12.5%
	過剰	0	0.0%	
通所系	多いに不足	10	12.8%	67.9%
	不足	17	21.8%	
	やや不足	26	33.3%	
	適切	26	33.3%	32.1%
	過剰	0	0.0%	
訪問系	多いに不足	27	23.5%	76.5%
	不足	40	34.8%	
	やや不足	21	18.3%	
	適切	24	20.9%	23.5%
	過剰	2	1.7%	
居宅介護支援	多いに不足	10	11.2%	56.2%
	不足	20	22.5%	
	やや不足	20	22.5%	
	適切	38	42.7%	43.8%

障害分野

入所系	多いに不足	1	14.3%	71.4%
	不足	3	42.9%	
	やや不足	1	14.3%	
	適切	2	28.6%	28.6%
	過剰	0	0.0%	
通所系	多いに不足	4	12.9%	71.0%
	不足	9	29.0%	
	やや不足	9	29.0%	
	適切	9	29.0%	29.0%
	過剰	0	0.0%	
訪問系	多いに不足	8	34.8%	95.7%
	不足	10	43.5%	
	やや不足	4	17.4%	
	適切	1	4.3%	4.3%
	過剰	0	0.0%	
相談	多いに不足	1	20.0%	100%
	不足	1	20.0%	
	やや不足	3	60.0%	
	適切	0	0.0%	0.0%

	過剰	0	0.0%	
	無回答	1	1.1%	
地域包括	多いに不足	1	10.0%	70.0%
	不足	2	20.0%	
	やや不足	4	40.0%	
	適切	3	30.0%	30.0%
	過剰	0	0.0%	

	過剰	0	0.0%	
児童	大いに不足	0	0.0%	85.7%
	不足	3	42.9%	
	やや不足	3	42.9%	
	適切	1	14.3%	14.3%
	過剰	0	0.0%	

（３）①介護ロボットの導入　　導入事業所　９７件／４４３件（２１．９%）

		睡眠センサー	見守りセンサー	睡眠センサー見守りセンサー	移乗支援機器	移動支援機器	スライディング ボード・シート	コミュニケーションロボット
	導入事業所	34/7.7	26/5.9	13/2.9	28/6.3	10/2.3	69/15.6	11/2.5
効果	利用者のADLの改善	5/14.7	4/15.4		5/17.9	2/20.0	3/4.4	2/18.2
	利用者のQOLの向上	17/50.0	7/26.9		10/35.7	2/20.0	14/20.3	8/72.7
	利用者の体調変化の早期発見	29/85.3	18/69.2		1/3.6		1/1.5	
	職員の定着率向上	8/23.5	5/19.2		11/39.3	4/40.0	16/23.2	
	事故防止	22/64.7	22/84.6		21/75.0	5/50.0	38/55.1	
	職員の業務への安心感・負担軽減	28/82.4	22/84.6		24/85.7	8/80.0	47/68.1	1/9.1
	腰痛の改善・予防		1/3.9		26/92.9	8/80.0	52/75.4	
事業所内訳	特養ホーム　件/特養 %	19/65.5	12/41.4	11/37.9	13/44.8	4/13.8	23/79.3	5/17.2
	特養ホーム　件/全体 %	19/55.9	12/46.2	11/84.6	13/46.4	4/40	23/33.3	5/45.5
	介護老人保健施設	1	2		1	1	1	
	グループホーム	5	6	1	1		5	1
	看護・小規模多機能居宅介護	3					2	
	特定施設入居者生活介護	5	3	1	4		8	3
	通所サービス		1		2	2	8	1
	訪問介護	1	1		2		15	
	生活介護/障害		1		4	3	3	
	その他				居宅1		居宅3短期1	居宅1

【導入】令和４年度調査　66 件/３15 件(21.0%)と比較し、導入事業所は 97 件/443 件(21.9%)と若干増加。導入事業所は特養ホームが占める割合が高い。

【効果】

・利用者の体調変化の早期発見は睡眠センサーが 85.3%と高い。事故防止は見守りセンサー 84.6%、移乗支援 75%と続く。業務の安心感・負担軽減は、移乗支援機器 85.7%、見守りセンサー84.6%、睡眠センサー82.4%、移動支援 80%と続く。腰痛の改善・予防は移乗支援機器 92.9%、移動支援機器 80%、スライディングボード 75.4%と続く。

・スライディングボードなど活用して、持ち上げない介護を実践し、腰痛予防、利用者側の安心感にもつながっている。・利用者の ADL や体調の維持、事故防止に役立つ。

・記録や機器類の効果的な使用については、職員の教育や定着が重要。

・機器類を入れたら、業者と施設内の取組みで効果が最大限に発揮される必要がある。

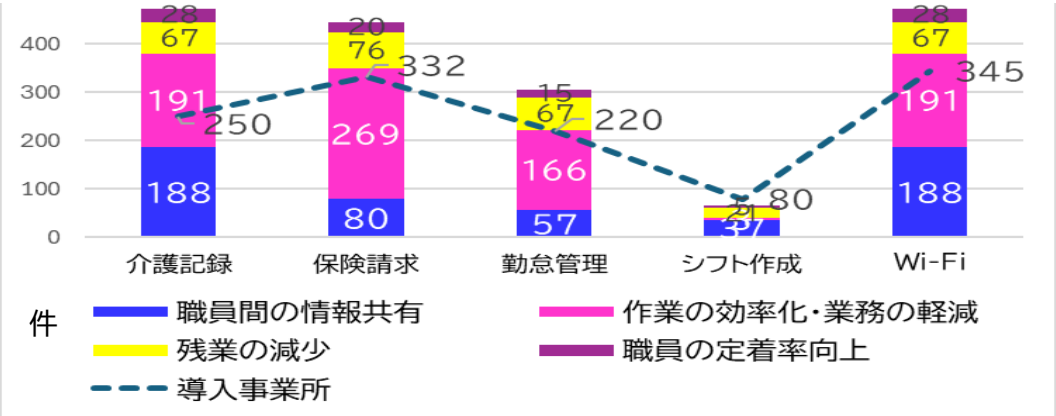
【課題】

・一部業務負担の軽減にはなるが、人材不足は補えない。

・機器導入の効果は、少数の利用者のみ適合で限定的。連続した介助に活用できない。

・助成金は時間的制約が多く、購入しても現場で使用されないこともある。
・機器の効果を自分たちで判断できないと、失敗を繰り返し、機器に期待がなくなると導入も進まないため、導入側の知識や経験が重要。 現場と事務が一体となって導入する意義や、具体的な推進体制を組む必要がある。 ・極小型化、携帯化が進むとよい。
・眠りスキャンは５年経過し、機器の故障等、維持管理にかかる費用が課題。
・導入したいが、業務に追われ検討もできない状況。
・眠りスキャン、スライディングシートは使いこなせていない。
・介護度が重度化し、職員の腰痛等体調不良者がいる。ノーリフトケアの周知が必要
・入浴のリフトで、安価でコンパクトなものがあると会社に提案しやすい。
・移乗用リフトがあるが実際の介護の際はセッティングに時間を要することや、利用者から「怖い」などの意見があり使用場面が少ない。
・在宅介護は利用者宅の事情による。【課題：製品・導入・コスト等】

（3）②ICT 導入事業所と効果



		介護記録	保険請求	勤怠管理	シフト作成	Wi-Fi
導入事業所	全体　件/%	250/64.6	332/85.8	220/56.9	80/20.7	345/89.2
	高齢分野	224	293	189	70	292
	障害分野	26	39	31	10	53
効果	職員間の情報共有	188/75.2	80/24.1	57/25.9	37/46.3	188/54.5
	作業の効率化・業務の軽減	191/76.4	269/81.0	166/75.5	3/3.8	191/55.4
	残業の減少	67/26.8	76/22.9	67/30.5	21/26.3	67/19.4
	職員の定着率向上	28/11.2	20/6.0	15/6.8	5/6.3	28/8.1

【導入】
保険請求システム 85.5%　介護記録 64.6%　勤怠管理 56.9%導入。シフト管理は 20.7%と低い。
【効果】
・職員間の情報共有は、介護記録が 75.2%、作業の効率化・業務の軽減は、保険請求が 81%、介護記録 76.4%、勤怠管理 75.2%と高い。一方、残業の減少は 22.9～30.5%、職員の定着率向上は６～１１%と低い。
【課題】
・介護ロボット等同様、検討する時間がない。
・経営陣から現場職員、老若男女の理解が得ないと導入できず、効果が十分に得られないと考えます
・このような報酬改定を繰り返すようならば、事業の継続自体を考えたい。

・システム導入には経費が掛かるので、取捨選択しないとコストばかり膨らくのが悩み。継続的な補助があればいい。
・高価の為、導入しづらい。補助の内容を施設の法人の大きさ等も考慮に入れて頂きたい。人財（日本人・外国人）の定着に ICT 化は必然。よりわかりやすく、申請がしやすくしてほしい。
・システムが定着するまで習得に時間を要する。誰でも使いこなせる簡単な機能だと導入しやすい
・作業効率は上がるが、反面費用面が負担になっている。
当社のみではなく、地域で同じ ICT 活用について足並みが揃わず活用の拡大ができていない
・保険請求システムの種類がバラバラすぎて他事業所とのやりとりがしにくい
・介護記録システムも種類が多いうえにタブレットなどでの記録がやりにくいものがあるが乗り換えしにくい、記録ソフト同士のスムーズな移行ができず、使いにくいものをむりやり使い続けるしかない、システム側も改善する気がない
・研修等も必要だが、日頃からコミュニケーションを取り、できない職員への支援を行う事が重要。
・互換性もないまま、色んなサービスを使うとシンプルに使えず、定着しない。予算の都合もある。
・使用方法を覚えるまでの労力、新しい事を開始する準備、普段の業務がただでさえ滞ってしまい切り替えの大変さ、費用面等考えると、容易でない。
・効率化できるシステムだが、従業員の年齢層が高いため定着に時間がかかる。
・活用する能力不足、システムの工程の多さ、簡素化が必要
・年配スタッフなど、新しいものを覚えることが出来ない人も多く、教える手間とフォローアップを考えると現状の方がお互い楽だと判断します。

（4） 外国人職員の在籍状況

1） 在籍している ６６件 （14.9%）

2） 外国人職員の内訳

① 全事業

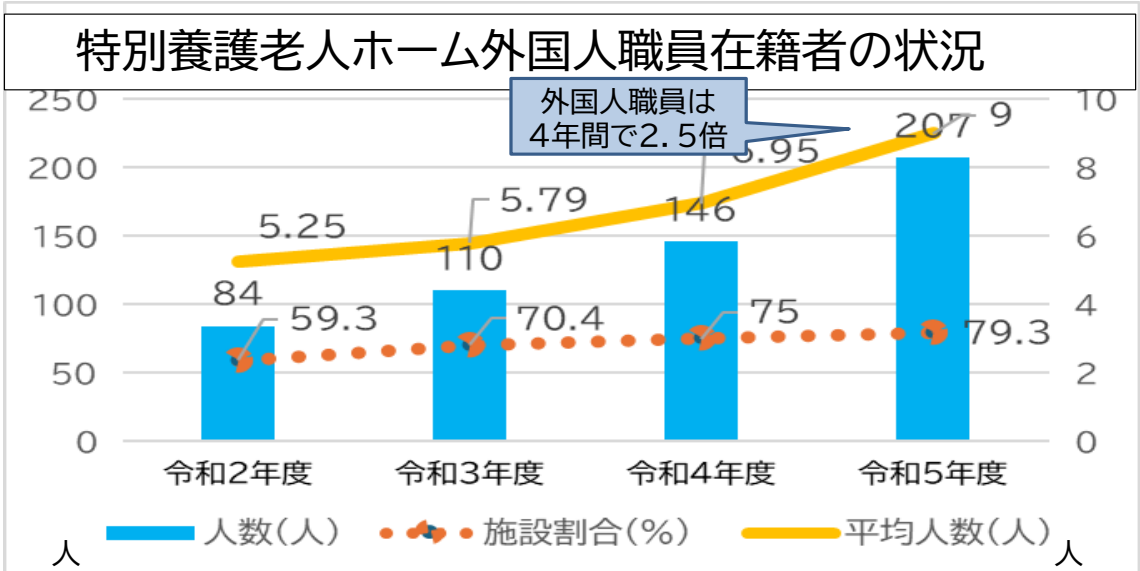
	ベトナム	インドネシア	ミャンマー	フィリピン	中国	国籍取得者等	その他	合計
在留資格介護	52	23	0	18	2		10	105
特定技能	35	46	15	2	5		5	108
EPA	12	19	1	2	0			34
技能実習生	7	2	12	1	0		3	25
留学生	5			3			4	12
国籍取得者等						37		40
合計	111	90	28	26	7	37	22	324

※その他：ネパール（9）、タイ・韓国（各4）、台湾（2）ウクライナ・モンゴル・スリランカ（各1）

②特別養護老人ホーム

	ベトナム	インドネシア	ミャンマー	フィリピン	中国	国籍取得者等	その他	合計
在留資格介護	38	22	0	5	2		5	72
特定技能	23	31	9	2	5		2	72
EPA	12	19	0	1	0			32
技能実習生	5	2	3	1	0			11
留学生	3						2	5
国籍取得者等						15		15
合計	81	74	12	9	7	15	9	207

※その他：ネパール（5）、韓国（3）、台湾（1）



	在籍施設数	施設割合	人数	平均人数
令和2年度(27施設)	16施設	59.3%	84人	5.25人
令和3年度(27施設)	19施設	70.4%	110人	5.75人
令和4年度(28施設)	21施設	75.0%	146人	6.95人
令和5年度(29施設)	23施設	79.3%	207人	9人

10

【効果】

・資格と能力があれば問題ない。やさしさ・真面目さがある。順調に実習を進めている。

・優秀な人たちが多い。日本人のニート達が目覚めてくれるのではないか。

・技能実習生から資格を取り在留資格介護となるなど頑張っている。

・外国人職員にわかりやすいようにマニュアルの漢字にふりがなやわかりやすい言葉を使い、動画や写真を積極的に用いることで、無資格未経験の日本人職員にとってもわかりやすいものになる。お互いに理解し合おうとして、外国人職員がいるとコミュニケーションが活発になる。

・介護福祉士や看護師資格を取得し、他法人や他施設での経験豊かな職員が集まっています。ユニットリーダーなど役職のついた外国籍職員もいます。とてもまじめな職員が多く、入居者に思いやりを持って接することができています。外国籍職員がいることで、お互いに、よりわかりやすい言葉を使って話そう、コミュニケーションをとろうとするので、施設全体のチームワーク良さにつながっていっていると思います。

・人材確保が日本人に比べ容易である。

・新たに外国人人材が入った時、先行して入っている人材が指導者となれるように体制整備。

・特定技能で地方から都市部に来たい方が多く、経験のある外国人職員の採用が出来て非常に助かりました。5年で介護福祉士をとれなかったら帰国ではなく、企業の推薦があれば1年後ごとに延長可能等、真面目に頑張っている外国人の方が救われると良いなと感じます

・真面目で頑張り屋、純真な印象で、ご利用者や周りのスタッフに良い影響を与える。

【課題】

・導入時のコストが高い。日本語力や記録面、文化・習慣の違いが課題

・採用コストが非常に高い。育成環境が整っていない。記録、文章の作成が課題

・職員や利用者が外国人というだけで身を引いてしまう。日本語の細かいニュアンスを理解できな

く、相手を困らせてしまう。日本語能力（特に敬語）の向上

・訪問介護には日本の文化に順応している人でないと厳しいと思います。

・一人で訪問するヘルパーの仕事は、言葉、風習の問題が懸念される。外国人人材とひとくくりではなく個人差があるため、人材不足を解決するひとつとして期待はある。

・日本語での読み書きやコミュニケーション・外国人特有の文化や宗教などの理解を深めるための研修や受け入れ体制の確保・教育体制

・制約が多い。管理会社への費用が掛かる。初期費用が高額で事業所の負担が大きい

・言語の壁（コミュニケーション、記録、研修等）。宗教上の理由から勤務中の礼拝がある。日本の文化を理解せず、入居者様とトラブルになることがある。長期の休暇希望（帰国等）がある。

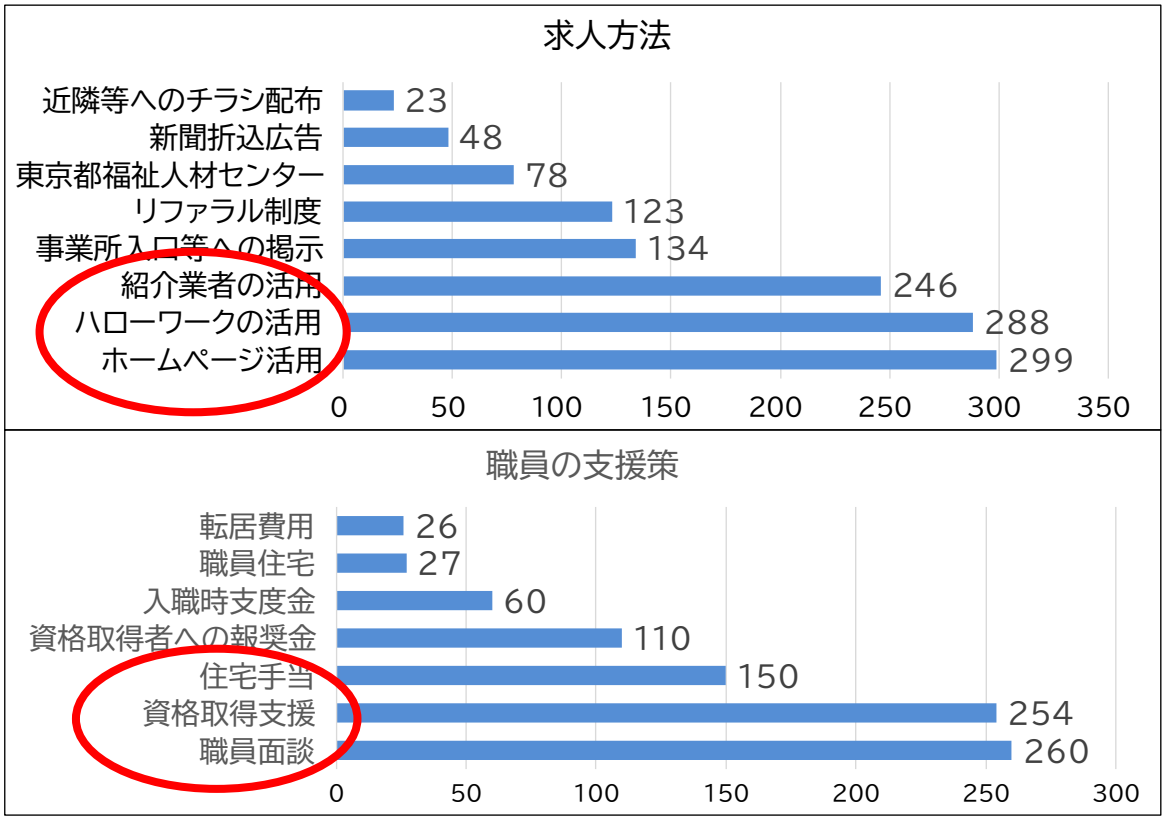
・特定技能外国人の採用等進めたいが法人内での意見統一が難航し思うように進まない。

・入居者の前では母国語でなく日本語で話すように指導している。

・結婚、出産期を迎え、不安定になっている。

・知的障害分野でどの程度の働きが可能かわからず、積極的には動けない。支援員には察する力が大いに求められるので、文化や生活様態の違いでそれに気が付けるかというのか大きな懸念点

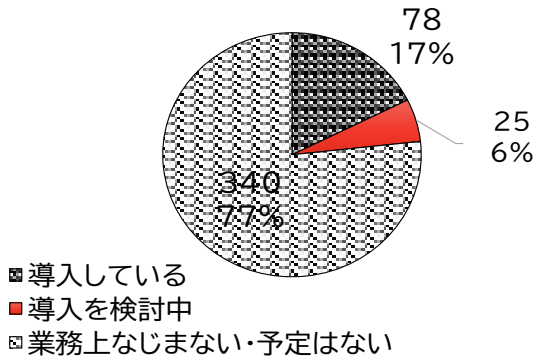
（5）人材確保・定着支援の取組み



（6）補助的業務の担い手の活用

導入している	78件	17.6%
導入を検討中	25件	5.6%
業務上なじまない、予定はない	340件	76.8%

補助的業務　（件）



19

（7）インターン、社会福祉士・介護福祉士実習生等受入れ　（件）

受け入れている	115件	26.4%
受け入れていない	328件	73.6%

受入れ（件）

インターン	36
社会福祉士	39
介護福祉士	56
ケアマネ	9
保育士	6
教職（介護体験）	4
看護師	3
PSW	2
初任者研修	2
かいチャレ	2
公認心理師	2
職業訓練校	2
その他	7

受入れのメリット　（件）

職員採用につながる	47	40.9%
福祉の仕事の理解が進む	61	53.0%
業務の振り返りにつながる	37	32.2%

その他自由意見
・地域貢献　・職員の育成
・地域の福祉施設として役割
・学びへのつながり
・人材育成
・社会的義務の一環
・あまりメリットを感じない

その他内訳
理学療法士、保健師
音楽療法士、作業療法士
管理栄養士、歯科衛生士
学生（個別）

（8）ボランティアの受け入れや地域での取り組み、福祉人材について

・地域に力のある人材が多く、支援が必要な方と支援してくださる方がつながる場所つくりがあるといい。ご近所付き合いで助けてくださる環境つくりを地域で取り組んでほしい。

・地域活動は重要ですが、取り組みは個人の負担（金銭的な報酬外）になることが多く、個人的な興味関心が無いと続かないのが課題と考えます。

- ボランティアを募集すると、お元気な高齢者の反響は時々あります。中には、高齢ですがお元気な方は、仕事として働ける場を求めているようです。
  しかし、現状では専門職を募集すると、職種によって応募の偏りがあります。医療職や主任ケアマネは応募が少なく、採用に時間がかかり、悩みの種です。
- ボランティアについては実態把握等でなるべく参加意欲があるか？をお聞きするようにしています。そのうえで参加・希望される場合には社協やあんすこボラとして改めてお誘いし、地区内のマッチングを行うことを検討している。
- ボランティアの受け入れは徐々に回復してきているが、ボランティアも高齢化しているためスムーズな受け入れが難しいケースが散見される。地域の自治会とのかかわりをより強く持つため地域行事への関わりを継続していく。
- 歌やマージャンのボランティアの方々に来てもらい、活動の質が上がっています。
- ボランティアの受け入れしたいが、窓口がわからない。
- 通所や訪問介護、居宅支援事業所の閉鎖が続き、人材や体制確保の困難さが顕著になってきている。地域住民との活動等の取り組みについても、活動をしていた地域住民自体が高齢化してしまい次の担い手不足が感じられる。
- 補助的業務について、有償ボランティアとして受け入れています。
- 毎月、音楽・紙芝居のボランティアが３回入って下さり、ご利用者もとても楽しみにしています。
- 地域密着型施設として、地域のお祭りや集まりに積極的に参加している。
- コロナが第５類となり、地域活動を始めております。地区の方たちやまちづくりセンターの方とも協働し、進めています。
- 新型コロナ・ウイルスが５類に移行してから開所した施設のため、ボランティアの受け入れや地域交流も積極的に行っています。１階の地域交流スペースにカフェを併設し、地域の方が利用できるようにしています。スタッフがほっと一息つける場所にもなっています。これから地域と積極的に交流を図っていきたいと思います。
- 先日、自施設地域交流にて、ボランティアの方たちとお話ができ、とても勉強になりました。
- コロナ以前はベッドメイキングやクラブ活動、話し相手、洗濯物たたみ等、様々な方々がボランティアでサポートしてもらっていたが、コロナ後は再開できていない。
- 地域との関わりという点では、施設開放の一環としての秋祭りが挙げられる。子どもを含めた多くの地域住民が来場している。
  近隣小学校のフィールドワーク学習の受け入れ先、中学校の職業体験先となっている。取り組みを継続し、障害とは何か、障害者とはどんな存在か、障害者福祉とはどんな仕事なのかなどについて、理解啓発を進めている。
- 限定的ではあるがボランティアの受入を行っていたが、コロナを機に受け入れは減少している。現在は精神保健福祉士の実習受入れや他施設からの１日実習など、受入可能な範囲で対応している。福祉人材についてはそのような出会いから繋がっていくケースが多い為、より多くの方が実際に利用者の方々と過ごす機会が増えることが望ましいと考える。
- 人不足が慢性化している。働き手が少ないのだから書類（計画書等）や居宅訪問・運営推進会議など誰も得しない業務を国や都がやめたらいいと思う。そうすれば書類などに時間をとられず、現場で利用者様の対応ができるのに、といつも思っています。

- インターン・実習生等について受入れしていないが、「福祉のしごとの理解がすすむ」と思う。依頼があれば受け入れたい。
- 福祉人材について：　訪問介護の現場では、シニアの方々が活躍できる業務がたくさんありますので、健康で働く意欲のある 70 代、80 代の方を積極的に採用し、人材不足の解消に取り組んでいます。
- ヘルパーの高齢化が進んでいます。若い人材が福祉関係の仕事に就いてくれるためには、収入アップや設備導入が必要と思われます。
- 人材の教育と確保が必要と感じています。地域の中で連携していける仕組みがあるとより良い在宅ケアになると思います。

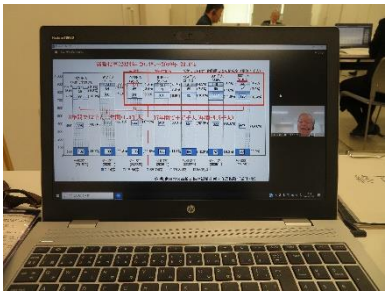
5　福祉の仕事の魅力向上・発信

（1）福祉のしごと　魅力向上・発信シンポジウム

タイトル	**住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる世田谷を目指して ～これからの世田谷の福祉と事業所の取組み～**
目　的	世田谷区の福祉の課題、福祉事業所調査から見える福祉事業所の現状と課題、事業所の実践報告から、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる世田谷を創るために、福祉のプロとして何をなすべきか・・・ともに考える。
開催方法	研修センターから講演内容を Zoom 配信し、視聴者の質問をチャット等で受け付け回答する。内容は後日、研修センターホームページで録画配信する。
開催日	ライブ開催：令和６年３月２１日　　録画配信：令和６年４月１日～
内容	（１）基調講演「これからの世田谷の福祉に求められるもの」 中村　秀一氏 世田谷区地域保健福祉審議会会長　国際医療福祉大学大学院教授 一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長 （２）調査報告　「世田谷区福祉事業所調査から見える現状と課題」 瓜生　律子　世田谷区福祉人材育成・研修センター （３）事業所の実践報告 ①「特養から地域へ元気を発信　～地域の方も職員も元気に！」 山口　晃弘氏　特別養護老人ホーム　千歳敬心苑 ②「外国人籍職員の育成と働きやすい職場環境づくり」 丸山　義晴氏　特別養護老人ホーム　世田谷希望丘ホーム ③「どこでも保健室　～地域の方の健康と暮らしを支える」 片岸　美佳氏　訪問看護ステーション三軒茶屋 ④「24 時間の在宅ケア　～ICT の活用」 浜田　直幸氏　SOMPO ケア成城
対象	世田谷区内でサービスを提供している医療・福祉サービス事業所職員

ホームページ＞福祉の理解・福祉のしごと・先駆的な取組み＞福祉のしごと・先駆的な取組み＞先駆的な取組みシンポジウム

【シンポジウムの様子】



【ZOOM 配信】

【シンポジスト】

6　特別養護老人ホーム外国人職員交流会

タイトル	特別養護老人ホーム外国人職員交流会
会　場	世田谷区立保健医療福祉総合プラザ１階会議室
開催日	令和６年２月 22 日（木）14 時～16 時
参加者	外国人職員　14 名　付き添い職員　11 名　区職員　４名
内　容	世田谷区の状況・自己紹介・グループワーク・発表・世田谷区文化・国際課の紹介

（１）グループワーク

①日本で働くきっかけ

・日本の教育の高さを学びたかった。
・日本にはいいアニメがあり、あとは自分の国よりもお給料の方も良かった
・雪を見たかった。大学の先輩が日本で働いていた。海外で働きたかった、家族を支えるため。
・アニメを見て日本の文化に興味を持った。日本に来て歌舞伎を見てより衝撃を受けた。
・日本で働く先輩の影響と、日本はやっぱり安全という印象と、自然も美しいこと。桜がある。
・日本人はちゃんと教えてくれ、技術が高いこと。
・先輩に誘われて日本に来て、先輩と一緒に働けてよかった。
・自分の国に介護の仕事がなくて、ちょっと僕興味を持って働きたいと思ったことと、日本で介護の仕事ではないが、一回働いて国に戻り、また日本で働きたいと思って、介護の仕事で戻ってきました。

②こまったこと

・職員が少ない
・日本語のちょっとしたニュアンスに困る。専門用語も、これから勉強。漢字がやっぱり難しい。
・花粉症やゴミの分別がすごく難しい。
・音読み訓読みや、「行く」と「行う」で読み方の違いが難しい。
・インドネシアの方は、やはり食べ物に困っている。
・病院に行くときの手続きやお話が大変。
・仕事の申し送りがよく聞き取れない看護師が早口。
・日本人先輩の方はうまくできるけれど、お風呂の介助の時に、嫌だっていう人の対応。
・漢字と専門用語。
・困った時に、同じ職場に同じ国の先輩に教えてもらって助かっています。

③やりがい

・やりがいっていう言葉もわかりにくい。
・人間関係が良くて、一緒に勉強するのがすごくいい。

・高齢者の方に自分の説明が伝わって笑顔が見えたことがやりがいにつながった。
・一日事故もなく、無事に終えた時、うまく自分の仕事も一つ一つこなせた時。
・スキルアップをして、みんなと笑顔で仲良く働けているっていうところですね。
・ご利用者の笑顔、ありがとうって言われると、すごくやりがいになります。
・できなかったことが先輩にレクチャーもらって、一人でできると喜びにつながり、できないことが克服できるようこと。
・母国の食材を売っているお店が増えている、仕事帰りにスーパーで半額のお弁当が売っている。

④こうだったら良いと思うこと

・職員が増えたらいい。
・仕事で一人でテキパキこなしたい。
・お給料を上げてほしい。
・もっと上司に話を聞いて、思いを知っていただきたい。
・基本的には生活すごく満たされていて、やっぱりその日本語の部分がもう少し上手になれば、おおむねクリアできます
・タクシー代がもうちょっと安かったらいいなと

⑤これからの夢

・国家資格取るために勉強し、介護福祉士、看護の資格を取りたい。日々成長したい。
・家族を日本に連れてきて一緒に暮らしたい。日本国内を旅行したい。
・結婚して子供もいて、幸せになりたい。
・日本語が堪能になって、いずれずっと日本で暮らしていきたい。
・富士山を見たい、登りたい、日本全国回りたい。
・言葉の壁を取っ払いたい
・母国の治安が悪いので、日本で継続して働きたい。
・インドネシアに帰って日本語を伝えたい、
・日本人ともっとペラペラ喋れるようになって、専門用語、介護技術を持てるようになりたい。

⑥感想

・日本は財布を落としても中身も見つかる、夜、一人で歩いていても安全な国と、日本の魅力を知ることができた。
・外国人で介護という仕事を担うこと、如何ばかりかと思います。上司とゆっくり話をする機会がないとのこと気づかせてくれました。先のことを考えてどんなことを考えているか知ることは大事なことと思いました。
・前向きでまじめに頑張っている様子に素晴らしいなと思いました
・私の施設だとベトナムの方が多いが、今回グループで他のお国の方といろんな意見を聞けて、とてもいい機会になりました。
・システムの違いで N3 を取らないと、来日できない国と、日本に来てから、N3 をとれる国があることが分かった。

（２）世田谷区国際課による世田谷区の取組み（抜粋）

世田谷区

世田谷区の状況

世田谷区の人数（2024年1月1日現在）

せたがやくにすんでいるひとは、やく91まん8せんにんで、23くのなかでいちばんおおいです。
世田谷区に住んでいる人は、約91万8千人で、23区の中で一番多いです。

がいこくじんは、やく2まん5せんにんすんでいます。
外国人は約2万5千人住んでいます。

人口	外国人の人数	外国人の割合
918,141人	25,537人	2.78%
1位／23区中	10位／23区中	23位／23区中

- 2 -

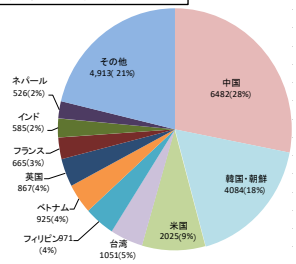
世田谷区

世田谷区の状況

国籍・地域別外国人数

ちゅうごくのひとがいちばんおおい。2ばんめは、かんこく・ちょうせんのひとがおおい。
中国の人が一番多い。　　2番目は韓国・朝鮮の人が多い。

順位	国名	令和5年1月	令和4年1月	増減
1	中国	6,482	5,793	689
2	韓国・朝鮮	4,084	4,038	46
3	米国	2,025	1,764	261
4	台湾	1,051	1,000	51
5	フィリピン	971	889	82
6	ベトナム	925	851	74
7	英国	867	767	100
8	フランス	665	603	62
9	インド	585	540	45
10	ネパール	526	476	50
	その他	4,913	5,324	▲ 411



- 5 -

世田谷区

世田谷区のとりくみ

2018年4月
・「世田谷区多様性を認め合い男女共同参画と多文化共生を推進する条例」を作りました。条例は世田谷区の決まりのことです。

2019年3月
・「世田谷区多文化共生プラン」という、計画を作りました。

2024年4月
・「世田谷区第二次多文化共生プラン」がスタートします。

世田谷区が目指す基本理念（もとになる考え方）

誰もが共に参画・活躍でき、人権が尊重され、安心・安全に暮らせる多文化共生のまち　せたがや

だれもがいっしょにさんかして、かつやくできる。
じんけんがだいじにされて、あんしんしてあんぜんにくらせる。
こくせきやみんぞくなどがちがうひとたちが、おたがいをみとめてたいとうにいっしょにいきていくことができるまちを　めざします。

- 6 -

世田谷区

せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）

区の国際交流・多文化共生の拠点です。
色々な情報の提供や講座・交流イベントをやっています。
火～日曜　@10:00-18:00（年末年始除く）オープンしています。
@三軒茶屋駅そばのキャロットタワー２階
☎　０３－５４３２－１５３８

- 10 -

自己紹介

グループワーク

国際課のお話

集合写真

連絡先交換

7　令和５年度の研修センターの主な取組み

（１）福祉の理解促進

１）夏休み小・中・高校生福祉体験

事業概要	次世代を担う小学３～６年生親子、中学生、高校生を対象に介護施設の紹介や介護体験を行うことで、福祉について身近に感じてもらい、福祉の理解を促進する。
日　　程	令和５年７月３１日～８月２１日（７日間、14 回）
開催方法	対面
参 加 者	参加者３４４名（保護者含む）　　申込者　350 名
内　　容	（１）「新しい介護～特別養護老人ホームの取組み」動画視聴 （２）車いす・介護ベッド　動画視聴・体験 （３）「リハ・スポーツの取組み」動画視聴 （４）ボッチャ体験
周知方法	区内小・中学校、図書館、児童館、まちづくりセンター等でチラシ配布。区のお知らせの掲載

テキスト

体験の様子「介護ベッド」

ボッチャ

＜参加者の声＞

・特別養護老人ホームの工夫がわかった。
・車いす体験、楽しかったです。もし困っている人がいたら手伝いたいです。
・車いすに乗ったことがなかったので、乗っている人の気持ちが分かりました。
・初めて福祉体験をして、便利なものがあると、介助する方もされる方も、どちらも助かると思いました。今日の体験で、福祉がより身近に感じられました。
・ボッチャは誰でもできるスポーツだと思った。

＜今後に向けて＞

・実際に車いす・介護ベッドやボッチャ体験ができ、「体験できてよかった」という意見が多く、動画視聴のみよりも効果的だった。今後の感染症の状況を踏まえ、研修センターでの体験だけでなく、施設での体験へ移行していきたい。
・「参加して良かった」「福祉について理解できた」という声から、子どものころから福祉に触れることで、福祉の理解促進につながるように継続的に行う必要がある。
・学校などで車いす体験などを行う「福祉の出前入門講座」も実施しており、夏休み福祉体験とあわせて福祉の理解促進につなげることができるように取り組む。

２）せたがやシニアボランティア研修

事業概要	高齢者の社会参加、地域貢献を推進し、自らの健康づくり、介護予防に役立ててもらうとともに、要介護・要支援者に対する、区民の主体的な地域支え合い活動を育成・支援することを目的に、せたがやシニアボランティア活動に参加するための研修を実施。研修内容は施設動画視聴、事業概要の説明、実際にボランティアをされている方のインタビュー動画視聴。
実施回数	年７回（集合５・７・９・11・２月　動画配信８・12 月）
会　場	世田谷区福祉人材育成・研修センター　他、区内施設
参 加 者	集合５回　延べ 131 名　　動画配信２回　延べ　22 名

＜参加者の声＞

・いろいろなボランティア活動があることシニアボランティアのシステムがわかり良かった。
・認知症の様々な症状を知ることができ、その場の対応がわかった。
・内容はよくわかったが、自分にあったボランティアがみつからなかった。
・ボランティアに参加する意義が感謝と喜び、理解であることがわかった。
・スライドと説明の両方でわかりやすかった。・実際の活動状況が理解できた。
・児童館でのボランティアもあることを知った。・世田谷区の取り組み方、素晴らしいと思う。
・実際にボランティアをしている方の話が参考になり良かった。
・まず自宅から通える施設に連絡して活動してみたい。・良く考え抜かれたいい研修だった。
・特技を生かせるところを探していたが、ボランティアとしてできる活動の内容が意外に広いことが分かった。
・世田谷区内の年齢構成や人口推計、その他今まで気にしていなかったことに気づけた。
・世田谷安心コールは、今まで知らなかった。ボランティアとしてだけでなく、高齢者に「こんなものがあるよ」というアプローチとして、広く広報して欲しい。
・自分にできることを探して参加したい。・自分からアプローチするのが苦手。
・ボランティア活動のため、１ポイント 50 円の設定は少し改善したほうがよいと思う。
・ボランティア活動も色々あることや、喜んでいただいていること、体験談が良かった。
・無理なく参加できることが分かり、気負いなく活動に参加できる。
・分かりやすい説明が、ありがたかった。・想像以上に活動できると思った。
・ボランティア活動の実績データや、その分析の説明があるといいと思う。
・デイ・ホームなどでのボランティアは、本人の生きがい活動にもつながると思うが、あんすこや、安心コールの件は、隣近所で解決できるよう、町会活動・地域活動を活発化させ、顔見知りが増える方向でも考えてもらいたい。
・人の役に立つとだけでなく、自分自身の今後を考える機会になった。自分の地域の施設で活動したいと考えている。
・自分が高齢者だからこそ、できることがあることが分かった。自分の健康を維持しつつ、活動ができることが嬉しい。

＜今後に向けて＞

・集合研修に加え、動画視聴による研修を２回開催する。
・実際に活動している方の話を聞きたいという声が多いため、様々なボランティア活動をしている方のインタビューを随時、追加していく。
・会場開催は、区内の各地域で開催できるように配慮する。

３）手話カフェ

事業概要	手話を通して、福祉の理解促進を図る。誰でも気軽に参加できるよう、基本的な内容を中心に実施。保健医療福祉総合プラザの運営管理者協力事業
実施回数	月１回　１１回開催　（９月は、台風の為中止）
定　員	各回 20 名
参 加 者	延べ 226 名
周知方法	区の掲示板（プラザ近隣の掲示板）、区役所等

＜実施方法＞

・聴覚障害者協会の方を講師に迎え、東京都発行の「話そう　手のことば　おもてなしの手話ＢＯＯＫ」をテキストに、手話の初めの一歩を気軽に交流を深め、楽しみながら学ぶ。手話を通し福祉の理解促進を図る。

・さらに学びたい方には区の手話通訳講習会を紹介する。

・今年度は、会場をカフェから会議室に変更して実施し落ち着て参加できると好評だった。

＜参加者の声＞

・初めてでしたが、とても楽しく学ぶことができました。

・講習会と違い、初めて手話を学ぶ一緒に学ぶ方々でも楽しく手話を学べる点と講師の優しい。

・講師のわかり易い説明と丁寧な通訳が大変勉強になりました。

・一人ひとり丁寧に教えていただきました。

・初回は、わからなかったが、だんだんわかるようになり楽しくなりました。

・楽しかったです。また参加したいと思いました。

＜今後に向けて＞

・当事者である聴覚障害者協会の講師が「福祉のこころ」について、丁寧に教えてくれるので、福祉の理解が進んでいる。引き続き、手話を通して福祉の理解促進に取り組む。

・令和６年度からは、研修室等を利用して開催する。

４）「KAiGO PRiDE @SETAGAYA」写真展

事業概要	日々介護の仕事に取組んでいる介護職への敬意と感謝を表し、介護職員の介護の仕事への熱い思いや魅力をポートレートとメッセージをとおして発信する写真展 ※保健医療福祉総合プラザの運営管理者協力事業
日程 **（会場）**	６月３日　うめとぴあフェスタ（保健医療福祉総合プラザ） ６月７日　福祉のしごと入門講座、相談・面接会（玉川せせらぎホール）

	6 月 29 日　世田谷区福祉職員合同入職式 ・永年勤続表彰式（世田谷区ブライトホール） 7 月 19 日～24 日　　都庁展示（都庁第 1 庁舎） ８月 26 日　福祉用具展示会（保健医療福祉総合プラザ） 9 月 2 日　　福祉のしごと入門講座、相談・面接会（北沢タウンホール） 9 月 16 日　在宅療養講演会・シンポジウム（玉川せせらぎホール） 10 月 5 日　福祉のしごと　特養施設長会合同イベント（北沢タウンホール） 10 月 26 日～11 月 9 日　介護の日写真展（中央図書館） 11 月 11 日　せたがや福祉区民学会（東京農業大学） 11 月 13 日～17 日　介護の日　うめとぴあ写真展（保健医療福祉総合プラザ） 1 月 25 日　福祉のしごと入門講座、相談・面接会(三茶しゃれなあどホール) 2 月 20 日　KAiGO PRiDE　WEEK　（保健医療福祉総合プラザ） 2 月 22 日　特別養護老人ホーム外国人職員交流会展示（研修室 C） 3 月 16 日～24 日　うめとぴあ展示（保健医療福祉総合プラザ）
周知方法	ちらし・ホームページなど

＜開催風景＞

＜来場者の声＞

（福祉のしごと　相談・面接会）

・仕事の現場をカラー写真でも見てみたいと思った。ただ、あえて出さないコンセプトとも感じた。内面を映し出したようなポートレート写真で素晴らしかった。
・とても素敵に映っていたのでイメージアップには良いと思うが、あくまでビジュアル。実際に働いている写真の方が働くイメージができて良いかと思う。
・素敵な企画だと思う。介護が持つ少しマイナスイメージを変えられると思うので、ぜひ様々な場所で展示していただきたい。
・モノクロ写真で、皆さんモデルのようで素敵だった。人に寄り添う大切さを感じた。
・皆さん洗練された雰囲気で、福祉現場の人に多い疲労感が感じられずステキだった。
・介護現場で働いている方に注目した、興味深い企画だと思った。
・とても素人の方がモデルと思えない写真で良かったです。
・皆さんモデルのようでかっこよかった。・PHOTO のコピーが良かったです。・良かった。
・すばらしい企画だと思います。・とても素敵な写真でした。・とても素晴らしかった。
・モデルになった方に感謝したい。主張をもっと多くした方が、よりその人に感情移入できると思った。
・とても良い取り組みだと思うので、もっと多くの方に参加してもらえるとよいと思った。
・モノクロの陰影で、モデルの方々の表情の生き生きした感じや温かさが伝わった。

・とてもクールな感じが素敵だった。・モノクロの写真だがとても美しいと思った。
・どの写真も素敵だった。従事者の方のお顔が精悍。良い取り組みだと思った。
・どの写真も生き生きとして表情で、好感が持てた。

（うめとぴあ写真展）

・写真の下に文字が書いてあって、それがすごくいいとこですけど、もう少し字が大きいと読みやすいです。他はめちゃくちゃ良かったです。
・素晴らしい写真。家に飾りたくなる。介護職への関心がすごく出てきました。かっこいい。
・かっこいい。打たれた。介護に従事する人が報われるような世界になるべきと思います。

＜今後に向けて＞

・区内各所で開催される「福祉の仕事　相談面接会」「せたがや福祉区民学会」等で、「KAiGO PRiDE@SETAGAYA」写真展を開催し、「福祉のしごとの魅力」を発信していく。

5）オレンジ・ランプ上映会

事業概要	39 歳で若年性認知症と診断された方の実話をもとに描かれた夫婦の希望と再生の物語で、認知症になっても、また、生きづらさを抱えた方でも、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためのヒントをみんなで考える。 ※保健医療福祉総合プラザの運営管理者協力事業
実　　施	令和 6 年 1 月 19 日 20 日　1 日 3 回上映
会　　場	世田谷区立保健医療福祉総合プラザ 1 階 研修室 C
参 加 者	延べ　275 名
周知方法	ちらし・ホームページなど
開　　催	うめとぴあ　上映会実行委員会（代表　研修センター）

＜周知チラシ・開催風景＞

＜来場者の声＞

・心にのこる素晴らしい作品でした。いずれ自分自身に起こるかもしれない認知症を今知っておく事ができ、よかったと思います。
・今まで自分が考えていた認知症への考えが変わり、前向きになれて良かった。
・多くの方に正しい認知症の理解を早急にしてもらいたい。とても良い活動だと思います。私もケアマネジャーとして頑張ります。
・認知症になっても諦めないという言葉がとても心に残りました。グループホームのケアマネジャーとして働いていますが、地域の中で安心して暮らせる社会に向けて私も貢献していき

たいです。
・認知症はまだまだ理解が足りていないので、こういったイベントは良い機会だと思います。
・幅広い世代にこのような企画が伝わり、参加できると良いと思いました。
・映画を見た事によって認知症を身近に感じられました。ありがとうございました。
・夫婦での参加でしたが、これから二人で話ができそうです。ありがとうございました。
・映画館に行けなかったので大変ありがたかったです。とても良い映画なので今後も上映を定期的にお願いします。
・無料という事で気軽に参加できました。小・中・高校などでもぜひ上映してほしい。
・知的障害、肢体不自由、音のろうなど、色々な方と共にかまえることなく暮らせる社会になるといい。
・認知症をおそれないまちづくりをして欲しい。今日のような企画をどんどんしてください。
・映画に字幕があり良かったです。映像の質が良かった。映画館並みです。

（２）福祉人材の確保・育成・定着支援

１）基礎的な資格取得・学びの場

介護や介護の仕事が未経験で、新たに介護の仕事を目指す方が不安なく仕事ができるように、介護に関する基本的な知識や技術を学ぶための研修、資格取得のための研修として次の研修を実施している。

研修名		内　　容	
①　介護に関する入門的研修		対　　象	介護の仕事に関心のある区民
		日　　程	9/6～10/5、5 日間、21 時間
		方　　法	講義・演習：オンライン研修
		修了者／受講者	24 名／26 名 （40 歳～77 歳　平均年齢 59 歳）
②介護職員初任者研修		対　　象	介護の仕事に従事する、または希望する方。家族等のために介護の知識や技術を学びたい方
		日　　程	第１回　5 月 19 日～7 月 13 日 第２回　9 月 12 日～11 月 2 日 22 日間、130 時間
		方　　法	講義：オンライン研修 演習：研修センター（介護実習室）での集合研修
		修了者	①14 名（18 歳～73 歳 平均年齢 49.28 歳）②9 名（19 歳～75 歳 平均年齢 48 歳）
③同行援護従業者養成研修	一般課程	対　　象	区内で同行援護サービスに従事する意思のある方
		日　　程	4 月 18 日～20 日　3 日間、21 時間
		方　　法	講義・演習：研修センターでの集合研修
		修了者／受講者	19 名／20 名（29 歳～71 歳　平均年齢 55.5 歳）
	応用課程	対　　象	同行援護従業者養成研修（一般課程）を修了した方
		日　　程	5 月 15 日、16 日　2 日間、12 時間

		方　　法	講義・演習：研修センターでの集合研修及び公共交通機関・公共施設を使った屋外演習
		修了者／受講者	9 名/10 名 （41 歳～69 歳　平均年齢 56.4 歳）

① 介護に関する入門的研修

・対面で実施し、車いすや介護ベッドなど、福祉用具を使用し、実際に体験を行った。

＜参加者の声＞

・講師に直接質問をし、グループワークを行うなど、横の繋がりができ、理解も深まった。

・座学、実技があり思っていたよりもあっという間に修了した感じです。

・様々な分野のお話を聴くことができ、大変勉強になりました。インターンシップなどの制度も利用して実習の経験を積みながら、地域活動や家族介護に役立てることができるようにしていきたいと思います。

・車いすの移乗・押し方など実際に経験してわかったことが多数あった。

・家族の介護を経験しましたが、講師からの最新の情報で介助者の立場や、介助者側の健康・事故予防など、介助者自身の負担軽減やケアも重視されている事を知り、安心しました。

②介護職員初任者研修

・第１・2 回とも、講義はオンライン会議システムで実施したが、希望する全ての受講者に Web　会議システムへの「接続テスト」を行い、スムーズに講義を行うことができた。また、演習科目は東京都の規定上、オンラインでの実施が認められていないため、感染防止策を講じ、研修センターで実施し、受講者同士の横のつながりも生まれた。

・第 1 回は修了者のうち 11 名が福祉の仕事に従事した。そのうち 4 名は受講前より福祉の仕事に従事しており、資格を取りステップアップができた。

・福祉の仕事をするにあたり、知識や技術を習得や資格を得ることの必要性があり、働きながら資格取得を目指す方も多い。

・第 2 回は、修了者のうち 6 名が福祉の仕事に従事した。そのうち 2 名は受講前より福祉の仕事に従事しており、資格を取りステップアップができた。

＜参加者の声＞

・遠隔での講義だったが、特に問題なくテキストと資料を見ながら講義が進みよく理解できた。グループワークも様々な受講者と意見交換することができ遠隔講義の不便さはなくスムーズに学ぶことができた。

・最初は家族介護のためにと思って受講したが、今はそれを活かし仕事にしたいと、大きく気持ちが変わった。仕事を通して介護職というものを周りの人たちへも発信できたらいいと思う。

・実務者研修を受講したい。

・介護に携わる人は、全員受けるべき研修だと思う。

・研修に参加して、素晴らしい仲間ができた。

② 同行援護従業者養成研修

・一般課程は、基本に忠実な指導が大変好評で 19 名が修了し、応用課程も基本に忠実な指導が好評で 9 名が修了した。

・一般課程修了者の 2 名、応用課程修了者 3 名が同行援護に従事している。

＜参加者の声＞

（一般課程）
・テキストやレジュメ、パワーポイントに沿った説明が分かりやすく、当事者である講師の実体験からくる内容をたくさん伝授して頂き、興味深く履修することが出来た。
・丁寧な説明や不確かな所、注意点など質問して明確に指導していただけたので、しっかり理解できた。
・当事者との演習を通して、道の段さやスロープ、階段の昇降や狭所等、普段何気なく対応していることも視覚障害者にとっては厳しい条件であることに気づけた。
（応用課程）
・実際の場面を想定しての演習がとても役に立つと思った。レジメに沿って詳しく説明していただいたので分かりやすかった。
・実際にエスカレーターや乗り合いバスを使った演習ができ、具体的な体の動かし方を学べ、ガイド活動に役立つと感じた。
・細かい点まで講師に指摘してもらい、演習を繰り返しできたことが良かった。

＜今後に向けて＞

・入門的研修、介護職員初任者研修は、感染予防の観点から可能な部分については、動画配信等、Web の活用を取り入れる。
・同行援護は、確実に知識・技術の習得ができるよう、引き続き感染予防と安全に配慮し、集合での研修を準備する。
・受講者が視覚障害者をより深く理解するとともに、大切なポインをしっかりと伝え、実践につながるより質の高い研修となるよう、講師と相談しながら研修環境を整える。
・一般課程受講者に、応用課程の受講を勧め、より専門的な学習を通して当事者への理解を深め、従事者の確保につなげていく。
・キャンセル者には、新年度の要項を送付する等、情報提供に努める。
・研修受講により、福祉の理解促進や、知識や技術の習得で自信がもて、就労へつながるきっかけともなることから、これらの研修を継続して実施していく。

２）福祉サービスの担い手の発掘・就労支援

事業概要	福祉人材を総合的に確保・育成するため、ハローワークや東京都社会福祉協議会、産業振興公社等関係機関と連携し、①せたがや福祉のしごと入門講座、面接・相談会、②せたがや福祉のしごと区内介護施設等見学会、③訪問看護の就労支援講座、④訪問看護の職場体験を実施している。
対　象	①②これから福祉の仕事に就きたいと考えている方　福祉の仕事に関心のある方 ③④看護師等の資格保有者
そ の 他	雇用保険求職活動の実績対象

＜実施方法と実績＞

①せたがや福祉のしごと入門講座、面接・相談会

・9 月、1 月の面接会は、午前・午後の 1 日 2 回で一部参加事業所を入れ替えて開催。
・実施回数は、10 月イベントと合わせ、当初計画より 1 回分多い、年計 6 回実施
・参加事業所 1 分間 PR 動画を研修センターホームページで開催前後約 2 週間公開した。福祉のしごとや資格等に関する説明、介護職員等の体験談を語る座談会動画は、開催後 2 週間公開した。
・イベントは世田谷区内特別養護老人ホーム施設長会と共催で開催し、集合形式で実施した。
※3 月開催分については、会場の都合により未実施

	実施回数（回）※	実施方法	参加企業（所）	参加者数（イベント参加者数再掲）（人）	入門講座参加数(人)	面接者数（人）
令和５年度	6	会場	46	290（63）	186	227
令和４年度	5	Web／会場	59	178（27）	111	96
令和３年度	4	Web／会場	51	118（13）	118	―
令和２年度	4	Web／会場	66	239（119）	170	―
令和元年度	4	会場	42	294（ 95）	125	180
平成 30 年度	5	会場	37	348（176）	112	168

※実施回数のうち１回はイベント　　（　　）内はイベント参加者数再掲

※Web 開催は面接会なし。

＜参加者の声＞

・入門講座では、仕事の始め方や資格取得、助成制度など、要点が良くまとめられていたので、短時間で理解できた。

・座談会の動画を通して、現場で働いている方のお話が聞けて良かった。

・面談ではとても丁寧に説明いただき、誠意を感じた。異業種からの転職や無資格でも働けることがわかって、明確になった。

② せたがや福祉のしごと区内介護施設等見学会

・現地集合、現地解散で午前・午後の２コース制で実施。各コース 2～3 施設を見学

・参加者には感染対策として見学受付の際に検温、抗原検査を実施し、施設の感染対策ルールに沿って見学を進めた。

	実施回数（回）	実施方法	参加企業（所）	参加者数（人）	ハローワーク登録者数（人）	就職者数（人）
令和５年度	5	会場	21	67	33	1※
令和４年度	5	Web／会場	20	51	36	0
令和３年度	5	Web／会場	20	70	–	–
令和２年度	4	Web／会場	17	44	–	–
令和元年度	6※	バス見学会	26	66	51	17
平成 30 年度	4	バス見学会	20	39	31	13

※第４回目までの合計就職者数

＜参加者の声＞

・入所されている方の笑顔が良かった。iPhone を使用しての業務を知り感心した。

・一度に複数の施設を見学できて各施設の違いが分かり、仕事の選択の勉強になった。

・初任者研修など、世田谷区は資格を取る方にやさしいと感じた。

・施設の見学や、雰囲気を知ることができたので良かった。

③訪問看護の就労支援講座

訪問看護について、仕事の内容や魅力を伝えるとともに、現役の訪問看護師との交流を通して、就労を支援する。　コロナ禍は Web 会議システム（ZOOM）を活用して実施。

	実施回数	参加者数
令和 5 年度	3	88
令和 4 年度	3	60
令和 3 年度	3	62
令和 2 年度	3	59
令和元年度	3	27
平成 30 年度	3	33

＜参加者の声＞

・訪問看護の実際の現場で行っている治療やケア、どのような気持ちで看護を行っているかを知ることができ、訪問看護への理解が深まった。
・従事している方が「楽しい」と言える訪問看護の仕事はやはり魅力的だと思いました。
・訪問看護へのハードルが少し低くなり、とても興味がわきました。
・貴重なお話しを聞かせていただき、選択の場を広げられたと思います。
・訪問看護の話を聞いて訪問看護への考えが変わった。やりがいがあると感じた。
・懇談会は、質問しやすい雰囲気で現場の生の声がきけてよかった。
・具体的な求人情報も見ることができてよかった。

④訪問看護職場体験

訪問看護ステーションの看護師と一緒に訪問看護の仕事を体験、現役の看護師に直接話を聞くことで、不安や疑問等を軽減し、就労を支援する。

	体験回数	延回数
令和 5 年度	0	0
令和 4 年度	1	2
令和 3 年度	コロナ禍のため未実施	
令和 2 年度	コロナ禍のため未実施	
令和元年度	8	10
平成 30 年度	6	7

＜今後に向けて＞

・面接会では、全体的に参加者を増やせるよう取り組む。
・相談・面接会では、福祉のしごとの魅力や現場の実際の周知を図るため、KAiGO PRiDE 写真展や福祉用具の展示・体験を実施する。
・1 分間 PR 動画を求人票とともに相談・面接会前にホームページ上で公開し、参加者の参加意欲が高められるようにする。
・区内介護施設等紹介は、受け入れ可能な施設から見学を再開し、実際の職場の様子が体験できるように取り組む。
・潜在看護師へのアプローチについて、研修の内容、周知の方法を工夫し、より多く参加してもらえる方法を検討していく。

３）福祉人材の定着支援

福祉のしごと相談	こころの相談（面談）、メール相談、電話や研修等を通じた相談を実施 【相談件数】 ・こころの相談（面談）　５件 ・メール相談　３件 ・電話、研修を通じた相談　２０件
研修室の貸出	区内福祉サービス事業所等が実施する研修などのために貸出 今年度団体登録　18 団体
図 書 の 貸 出	区内福祉サービス事業所等に参考資料として、研修センター図書の閲覧・貸出を行う
世田谷区介護サービスネットワーク事務局	研修グループ、通所連絡会、訪問介護連絡会、福祉用具連絡会、地域部会の活動を支援。Zoom での総会開催に伴う会費徴収事務等 ・令和５年３月から令和６年２月世田谷地域部会主催の「介護事業所管理者向け連続講座」、通所連絡会主催の交流会、福祉用具連絡会のイベント、各部会定例会の会場予約などを実施。
腰痛予防対策	腰痛予防「福祉用具活用のススメ」リーフレット作成

＜今後の取組み＞

・福祉のしごとに関心をもつ方が、仕事内容・働き方、資格取得等について相談できる「福祉のしごと はじめて相談」と、仕事における悩みや介護技術、職場の人間関係等について相談できる「福祉のしごと 悩み相談」の周知を継続する。

・ハローワーク等関係機関の紹介を相談チラシに掲載し、相談の一助とする。

福祉のしごと相談

図書貸出

（３）世田谷区介護人材対策推進協議会

目　的	区内介護サービス事業者と関係機関が一体となり、区における介護人材の確保及び育成・定着支援について、中長期的な視点も含めた対策を検討し介護人材不足解消を図る。
進め方	全体会：年２回　部会：「入所系」「在宅系」各２回 現状把握し課題を確認して、課題解決に向け　新たな取組みの検討を行い、実施可能なものから実行する。介護人材対策の好事例を収集し発信する。
検討内容	（１）介護現場の革新・生産性の向上に関すること。 （２）多様な人材の参入・活躍の促進に関すること。

	（３）介護の仕事の魅力発信・職業イメージの改善に関すること。 （４）その他介護人材の確保・育成・定着支援に関すること。

世田谷区介護人材対策推進協議会報告書参照
研修センターホームページ＞【調査・研究報告】

（４）サービスの質の向上

「災害対策研修～事業継続（BCP）の策定～」「経営力向上セミナー」など、２本の新規研修を加え、更なる福祉事業所のサービスの質の向上に取組んだ。

研修センター研修室のワクチン接種会場が終了し、下半期からは研修会場として使用できるようになったため、研修内容に応じ Web による研修、感染対策に留意しながら集合（対面式）による研修を実施した。また、集合と動画視聴を併用した複合的な研修方式も実施し、多くの事業所に学びの機会を提供した。

年間研修数※	123 本	集合研修 33 本　Web 研修 90 本（内訳：動画視聴 52 本　ライブ 12 本　ライブ+動画視聴 8 本　集合+動画 17 本　集合+ライブ+動画視聴 1 本）	
年間受講者数※	4,871 人 ／平均 39.6 人		
動画視聴 受講者数※	2,713 人 ／ 平均 52.2 人	**集合+動画※**	620 人／平均 36.5 人
ライブ 受講者数※	398 人 ／ 平均 33.2 人	**集合+ライブ+動画※**	92 人／平均 92 人
ライブ+動画視聴 受講者数※	313 人 ／ 平均 39.1 人	**集合研修 受講者数※**	735 人 ／ 平均 22.3 人

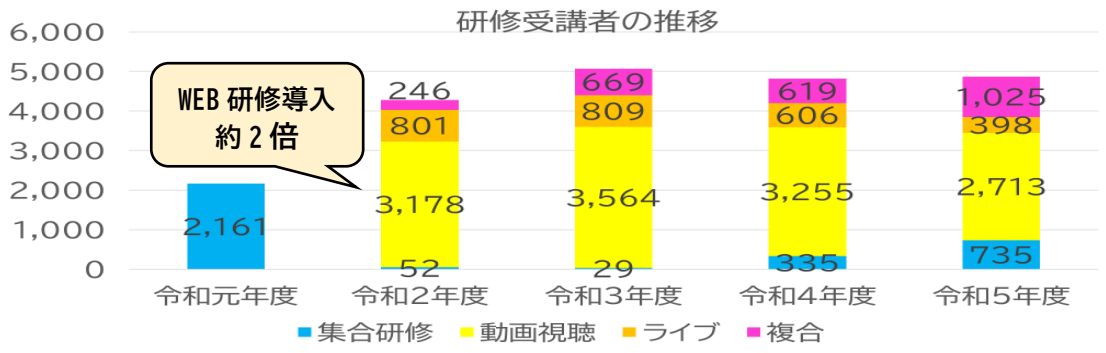
※令和 6 年 3 月 31 日 現在

＜実施方法＞

・座学は引き続き Web 研修を中心に実施し、誰もが安全に受講しやすい研修機会を提供した。
・研修センター研修室の機能を活かし、集合（対面）方式での研修を増やして、グループワーク等のやり取りを行うことでより有益な研修実施に繋げた。
・より多くの受講者の受講スタイルに合わせられるよう、集合研修（ライブ研修）とその研修内容の録画視聴の双方を受講者が選択できる、複合的な研修方式を増やした。
・視聴期間が長く、ホームページ上で自由に視聴可能な公開講座も引き続き実施し、多くの方に受講の機会を提供した。
・「Zoom はじめてレッスン」を動画視聴による公開講座で実施し、いつでもだれでも受講できるようにし、スムーズなライブ研修の受講につなげることができた。

＜受講者の推移＞

・受講者は令和 2 年度の Web 研修の導入により、2 倍に増加し推移している。
感染症の状況により集合研修を再開し、実技演習・グループワーク中心に集合研修を増加している。



	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
集合研修	2,161	52	29	335	735
動画視聴		3,178	3,564	3,255	2,713
ライブ		801	809	606	398
複合		246	669	619	1,025
計　（人）	2,161	4,277	5,071	4,815	4,871

※令和 5 年度は 3 月 31 日現在

＜受講者の属性＞

・高齢分野での事業種別では、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターの順で多く、職種別では、介護支援専門員、介護職の順で多かった。

・障害分野での事業種別では、放課後等デイサービス、居宅介護事業所の順で多く、職種別では、介護支援員、生活支援員の順で多かった。

高齢分野（参加者の多い順）

	事業種別	人数	全体の割合(%)
1	居宅介護支援事業所	1,906	48.7
2	地域包括支援センター	703	18
3	訪問介護	474	12.1
4	訪問看護	185	4.7
	職種別	人数	全体の割合（%）
1	介護支援専門員	1,810	47.7
2	介護職	566	14.9
3	管理者	485	12.8
4	看護職等	328	8.6

障害分野（参加者の多い順）

	事業種別	人数	全体の割合(%)
1	放課後等デイサービス	119	17.1
2	居宅介護・重度訪問介護	118	17.0
3	生活介護	115	16.6
4	児童発達支援事業	63	9

	職種別	人数	全体の割合(%)
1	介護支援員	253	36.6
2	生活支援員	139	20.1
3	管理者	117	16.9
4	保育士	37	5.4

＜申込者の多かった研修＞

	研修名	申込者	前年度比（%）	アンケート回収数	視聴回数	平均視聴回数※
1	障害福祉の理解研修【動画視聴】「精神障害の理解と支援」	284	165	177	549	3.1
2	災害対策研修　【動画視聴】「事業継続計画（BCP）の策定」	218	新規研修	123	458	3.7
3	高次脳機能障害支援力向上研修（応用）　【動画視聴】	210	154	135	445	3.3
4	認知症ケア研修　【動画視聴】「医学的視点からの理解と支援」	208	100	112	583	5.2
5	障害福祉の理解研修【動画視聴】「切れ目のない支援を目指して」	194	86	127	433	3.4

※アンケート回答数を視聴者数として算出

＜今後の取組み＞

・研修センター、受講者、研修講師ともに Web 研修の習熟を図り、ネット環境を整えていけるよう働きかけていく。
・講義形式の研修は引き続き Web 研修を中心とし、グループワークや実技研修などは、感染対策に留意しながら集合形式を安全に実施していく。
・動画視聴等の Web 研修と集合研修を併用し、効率的・効果的な研修を進めていく。
・より多くの受講者が効果的に学べるよう、Web 研修の受講方法や Web 環境が整わない方には、研修センターでの受講等の周知を図る。
・誰でも視聴できる、視聴期間の長い公開講座の拡充を図る。

（５）福祉の仕事の魅力向上・発信

１）世田谷区の福祉人材広報誌「福祉のしごと　ふくしごと」作成・発行

目　　的	これから仕事をしようとしている方などにむけ、福祉の仕事は人間の尊厳にかかわる、知識・技術に基づいた専門性のある魅力的な仕事であることを伝える。
対　　象	これから仕事をしようとしている方、福祉の仕事を考えている方 （若者、子育てを終えた方、定年退職した方 など）
内　　容	タイトル「福祉のしごとの魅力発信」 １．研修センター研修講師からのメッセージ ２．データでみる世田谷：世田谷区の人口概要／福祉人材に関する世田谷区福祉事業所調査結果概要

	３．有識者からのメッセージ：安藤 秀彦氏（世田谷区医師会副会長） ４．若者の声：せたがや福祉区民学会学生理事・第 15 回大会学生実行委員 ５．福祉の仕事の魅力：越知 真知子氏（（社福）こころみる会統括管理者）
配 布 先	ハローワーク、社会福祉協議会、ボランティアセンター、らぷらす、お仕事カフェ、青少年センター、若者サポートステーション、シルバー人材センター、図書館、研修センター、せたがや福祉区民学会など　※研修センターHP に掲載
作成部数	3,000 部

＜今後の取組み＞

・今後も福祉の仕事の魅力向上発信の効果的なツールとして、継続的に発行していく。

・イベント等にて配布し、広く周知を図る。

（６）せたがや福祉区民学会

事業概要	身近な地域で日頃の実践を発表し、情報交換を通してお互いの交流を深めあい、区民福祉を向上することを目的に、世田谷区内の福祉系８大学、福祉施設や事業所で働き、学び、研究する者と区民、行政で構成されます。年１回大会を開催し、福祉活動や研究成果を発表し、学びあい、区民福祉の向上を目指します。 （平成 21 年 12 月設立）　団体会員：143 団体、個人会員：54 名
開催方法	第 15 回大会　東京農業大学世田谷キャンパスで開催
実　績	●令和 2 年度　第 12 回大会の延視聴回数：4,248 回（WEB 開催） ・全体会：　308 回　　・基調講演：248 回 ・分科会：3,512 回　　・大会総括：180 回 ●令和 3 年度　第 13 回大会の延視聴回数：2,977 回（WEB 開催） ・全体会：　182 回　　・基調講演：118 回 ・分科会：2,452 回　　・大会総括：108 回 ・ワークショップ：117 回　Zoom 参加者数：51 名 ●令和 4 年度　第 14 回大会（駒澤大学） ・事例発表数：46 事例　・参加者数：344 名　・ワークショップ：26 名 ●令和 5 年度　第 15 回大会（東京農業大学） ・事例発表数：61 事例　・参加者数：493 名　・ワークショップ：44 名 ＜15 回の大会の実績（平成 25 年度第 5 回大会大雪で中止）＞ ・事例発表数：769 事例 ・参加者数：5,396 名（令和 2 年度第 12 回大会･令和 3 年度第 13 回大会除）

＜実施方法＞

・学生理事・学生実行委員を中心に「多様性を認め合う地域を目指す～心でつながる居場所づくり～」をテーマにワークショップを開催し、会員や学生相互の交流が図られた。KAiGO PRiDO@ SETAGAYA 写真展では、写真を通し世田谷で働く介護職が自らの言葉で仕事の魅力を発信した。

・障害者施設自主生産品展示販売では、お菓子や小物などの展示販売を行った。

・「第 15 回大会・介護の日」特別企画として、「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の紹介「福祉用具の展示・体験」「訪問介護自転車アイテム展示」「非常時にも役立つ介護食の紹介・試食」を行った。

・大会報告集は「発表者の発表を終えて」と「助言者の助言」などを１冊にまとめ会員に送付。

・会場開催での交流に加え Web 配信し、対面・オンライン開催、両方の良さを生かし実施した。

＜参加者の声＞

・基調講演を受け、一人ひとりに合った（得意を活かした）働きを見つけ、それらが“生活の支え”になっていたり、“充実感”になっていたりと“体で覚える働き”も学びに繋がっていると感じた。

・学生一人ひとりが福祉に対してきちんと考えを持っていることに驚いた。障害、高齢者、子どもを含め、対等な人間関係を作ることの大切さなど、隔たりのない地域づくりに学生の頃から関心を持ってもらえることが心強く感じた。

・これほど多くの福祉に関する発表を聴く事は、なかなかない。学生から一般の方まで多様な方が参加している事に意義を感じる。

・学会を支えてくださった学生さんの協力やパワーを感じました。学生の頃からこのような学会に関わることを通じ、福祉への関心を持っていただけたら、これからの世田谷心強いです。

・素敵な写真で一人ひとりに物語があり、そんな中でも人との関わりが“幸せ”や“笑顔”を作っているという感じ。素敵な（あたたかい）気持ちになった。

・介護食を味見しました。とろみのあるコーラ、炭酸飲料は飲みやすく、水分補給できると感じた。
　思ったより味も良く、母の介護で取り入れたい。

・コンパクトで折りたためる電動車イス、家族と共に移動しやすくいいなと思った。

・自転車のポンチョなど、便利だけど、知らないものがあり、大変勉強になった。

＜今後の取組み＞

・多くの方に参加いただき、世田谷の福祉の向上につながる。活動を知ってもらうため更に周知に努め、会員と発表者、参加者を更に増やすよう取組む。

・第 16 回大会は、令和 6 年 11 月日本女子体育大学で開催を予定している。

せたがや福祉区民学会　大会報告集　バックナンバー（第１回～第１５回）

https://www.setagaya-jinzai.jp/society/download

【令和６年度事業体系図】

福祉の理解
- 在宅療養講演会・シンポジウム
- 公開講座（トピック研修）
- 夏休み小・中・高校生福祉体験
- 福祉の出前入門講座
- 保健医療福祉総合プラザ協力事業（手話カフェ）
- せたがやシニアボランティア研修
- 福祉のしごとＰＲ
- せたがや福祉区民学会

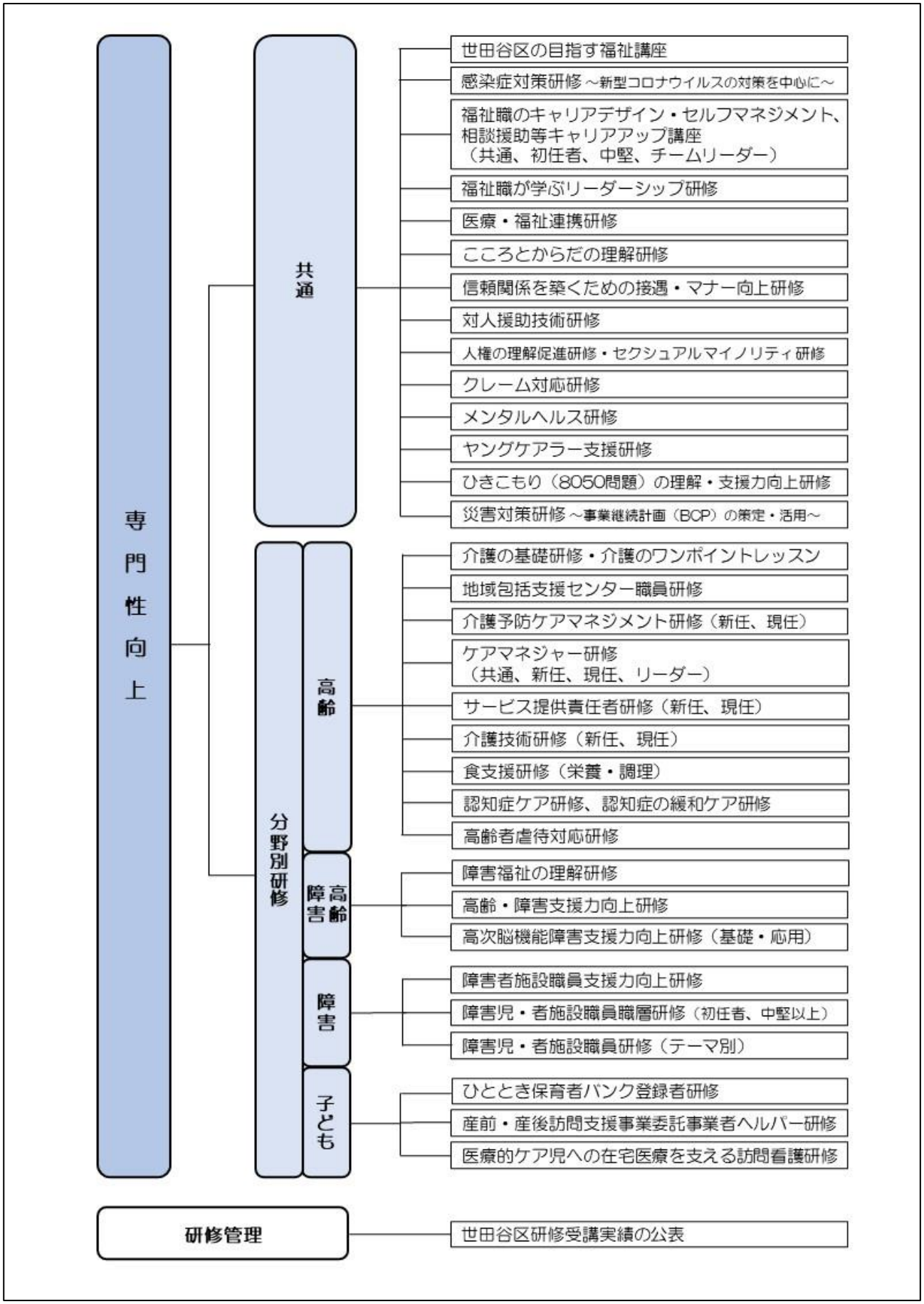
人材発掘・就労支援
- 福祉のしごと はじめて相談（仕事内容・働き方・資格取得 等）
- せたがや福祉のしごと入門講座、相談・面接会／イベント
- せたがや福祉のしごと区内介護 施設等見学会
- 訪問看護の就労支援講座
- 訪問看護の職場体験

資格取得支援
- 介護に関する入門的研修
- 介護職員初任者研修
- 同行援護従業者養成研修（一般課程・応用課程）

専門性向上
- 《次ページ　掲載》

活動支援・定着支援
- 研修支援（研修室貸出・図書貸出 等）
- 世田谷区介護サービスネットワーク
- 福祉のしごと 悩み相談（こころ、介護技術、職場の人間関係 等）
- 経営力向上セミナー
- 人材確保・人事管理セミナー
- 介護人材対策推進協議会

調査・研究
- 先駆的な取組みの調査・研究、シンポジウム
- 研修センター運営委員会、研修センター検討会


専門性向上
共通
世田谷区の目指す福祉講座
感染症対策研修 ～新型コロナウイルスの対策を中心に～
福祉職のキャリアデザイン・セルフマネジメント、相談援助等キャリアアップ講座（共通、初任者、中堅、チームリーダー）
福祉職が学ぶリーダーシップ研修
医療・福祉連携研修
こころとからだの理解研修
信頼関係を築くための接遇・マナー向上研修
対人援助技術研修
人権の理解促進研修・セクシュアルマイノリティ研修
クレーム対応研修
メンタルヘルス研修
ヤングケアラー支援研修
ひきこもり（8050問題）の理解・支援力向上研修
災害対策研修 ～事業継続計画（BCP）の策定・活用～
分野別研修
高齢
介護の基礎研修・介護のワンポイントレッスン
地域包括支援センター職員研修
介護予防ケアマネジメント研修（新任、現任）
ケアマネジャー研修（共通、新任、現任、リーダー）
サービス提供責任者研修（新任、現任）
介護技術研修（新任、現任）
食支援研修（栄養・調理）
認知症ケア研修、認知症の緩和ケア研修
高齢者虐待対応研修
高齢障害
障害福祉の理解研修
高齢・障害支援力向上研修
高次脳機能障害支援力向上研修（基礎・応用）
障害
障害者施設職員支援力向上研修
障害児・者施設職員職層研修（初任者、中堅以上）
障害児・者施設職員研修（テーマ別）
子ども
ひととき保育者バンク登録者研修
産前・産後訪問支援事業委託事業者ヘルパー研修
医療的ケア児への在宅医療を支える訪問看護研修
研修管理
世田谷区研修受講実績の公表

資料

1　都内地域型研修機関

名称等	主な事業	特徴的な取組み
東京都福祉人材センター 設立：1991 年（平成 3 年） 運営：東京都社会福祉協議会	• 仕事の紹介／研修／福祉の仕事に関する悩みの相談 • 小学生・中学生・高校生（教員・保護者）向けの研修 • 施設・事業者への支援／都内の福祉職場で働く人への支援 • 学校のキャリア支援担当へ支援／セミナー講師の派遣 • 就活通信の発行	• 福祉学習・キャリア教育用 DVD「変わりゆく福祉職場の“今”」 • 福祉職場の”今”を、様々な疑問から動画で紹介
千代田区かがやきプラザ研修センター 設立：2016 年（平成 28 年） 運営：千代田区社会福祉協議会	• ボランティアの養成・家族介護者向け等研修 • 介護・福祉・医療職従事者向け研修 • 介護・福祉資格取得支援 • 介護人材の育成と就職・復職支援 • 医療と介護の連携 • 介護カウンセリング事業	• 区独自の介護資格受講費助成
品川区介護福祉専門学校 設立：1995 年（平成 7 年） 運営：品川区社会福祉協議会	• 介護福祉学科（介護福祉士養成コース、通学制） • 社会福祉士養成コース（通信制） • 実務者研修コース（通信制） • 地域の福祉サービス従事者に向けた研修、「品川福祉カレッジ」の運営	• 区と社協のタイアップによる介護福祉士養成校開設 • 養成校卒業後も区との連携による研修を通して福祉人材のキャリアをバックアップ • 授業料を借り受けできる修学資金貸付制度（継続的な介護職従事で免除）、社会福祉法人との連携による福祉人材ファンドからの貸し付けあり
練馬介護人材育成･研修センター 設立：2009 年（平成 21 年） 運営：練馬区社会福祉事業団	• 登録している練馬区内の介護サービス事業所で働く職員を対象に、無料の研修を年間 100 回以上提供 • ケアマネジャー、介護福祉士の資格取得支援講座 • 地域に密着した情報交換の場の提供 • ストレス対策やセルフケア講座	• 事業所からのリクエストに応じた研修

名称等	主な事業	特徴的な取組み
練馬障害福祉人材育成・研修センター 受託：2013 年（平成 25 年） 運営：練馬区社会福祉協議会	• 学習支援／知識や技術等の基礎研修・階層別研修・啓発研修／情報支援	• 連携支援：利用者支援に関する情報を共有し、情報交換等により事業者同士が連携できる環境づくり
大田区福祉人材育成・交流センター 機能設置：2022 年 （令和 4 年） 運営:大田区福祉管理課	・確保：福祉の仕事に関する相談会や見学会など ・育成：福祉支援従事者に必要な福祉の基礎的研修。分野横断的に多機関・他職種連携を推進するための研修。eラーニング環境の基盤整備（システムの導入及び研修コンテンツの整備）など ・定着：所属や分野など様々な垣根を越えた人材交流事業など	• 福祉サービス事業所で働く方々が、所属や職種、支援分野など垣根を越えて交流し、共に学び、共に高め合うことを支援し、福祉従事者全体の支援の質の向上を目指す。
調布市福祉人材育成センター 設立：2015 年（平成 27 年） 運営：調布市社会福祉協議会	• 福祉人材の養成の研修・情報提供 • 就職相談会による人材の掘り起こし • 専門性の向上の研修 • 市民参入に向けた普及啓発 • 事業所あるいは職員間のネットワーク形成	• 市内福祉事業所の求人情報をホームページで提供 • 「ちょうふ福祉実践フォーラム」開催で職員同士のネットワーク形成
町田市介護人材開発センター 設立：2012 年（平成 24 年） 運営：一般社団法人 町田市介護サービスネットワーク	• 介護サービスに従事しようとする人材の新たな発掘確保／潜在的有資格者への復職に向けた支援／市内福祉関係養成校への授業支援 • 高齢者福祉の仕事フェア／就職面接会 • スキルアップの研修 • 地域包括ケアネットワーク構築 • こころの相談・メンタルヘルス講演会	• 事業者連絡会の事務局もしている。町プロ（ケアマネタイム）、アクティブ福祉 in 町田（表彰制度）、SNS、YouTube 配信など • 「カフェコーナー」での情報交換
武蔵野市地域包括ケア人材育成センター 設立：2018 年（平成 30 年） 運営：公益財団法人　武蔵野市福祉公社	• 人材養成事業：介護職員初任者研修／武蔵野市認定ヘルパー養成研修／武蔵野市認定ヘルパーフォローアップ研修 • 研修・相談事業：技術研修／認知症支援研修／潜在的有資格者復帰研修／喀痰吸引等研修 • 事業者・団体支援事業：管理者・経営者向け研修会	• 初任者研修又は 2 級ヘルパー以上の資格を持っているが介護職に就いていない人向けに、復職のための無料相談や講義・実習を実施

2　令和５年度世田谷区福祉人材育成・研修センター事業実施状況

主マネ：主任介護支援専門員更新研修における世田谷区推薦要件ウ（ア）に規定する研修　　登録Ｈ：「登録ヘルパー等研修受講助成」対象研修
公表：○保健福祉サービス従事者 ●保健福祉サービス従事者(自立支援・重度化防止) ☆ケアマネジャー　★ケアマネジャー(自立支援・重度化防止)

		実施方法	実施日	講師名	動画視聴期間	定員	申込者数	申込割合%	評価	ライブ参加者数	集合参加者数	アンケート回収数	視聴回数	R4申込者数	前年度割合%	評価	アンケート評価（%） 理解度	満足度	気づき	活用度
福祉の理解	手話カフェ	集合	第二金曜日	世田谷区聴覚障害者協会		20	4月22名 10月20名	5月18名 11月21名	6月19名 12月20名	7月14名 1月24名	8月16名 2月26名	9月 中止 3月26名	40	204	20	↘				
	夏休み福祉体験　7/29～8/21	集合	7/29～8/21			520	348	67	△		346	316		432	81	→				
	せたがやシニアボランティア	集合	5月30日	区職員、事業団職員		30	35	117	◎		29	29		164	21	↘				
		集合	7月12日	区職員、事業団職員		30	34	113	◎		26	26								
		動画		区職員、事業団職員	8/21～9/4		10					8	16							
		集合	9月29日	区職員、事業団職員		30	35	117	◎		31	31								
		集合	11月20日	区職員、事業団職員		30	23	77	○		19	18								
		動画		区職員、事業団職員	12/21～1/11		25					24	46							
		集合	2月7日	区職員、事業団職員		30	28	93	◎		23	23								
	福祉の出前入門講座　1回目	集合	6月2日	祖師谷小学校			115				115	1		282	41	↘				
	2回目	集合	6月19日	経堂小学校			139				139	1								
	3回目	集合	6月23日	代田小学校			48				48	1								
	4回目	集合	9月21日	若者サポートステーション			6				6									
	在宅療養講演会・シンポジウム	集合	9月16日	向山晴子他		200	73	37	×		75	59		77	95	→				
	KAiGO PRiDE@SETAGAYA　写真展	会場展示																		
	福祉の理解 写真展	会場展示																		
人材発掘・就労支援	せたがや福祉のしごと イベント	北沢タウンホール	10月5日								63	15		41	0	↘	91	91		
	せたがや福祉のしごと入門講座、相談・面接会	玉川せせらぎホール	6月7日		5/24～6/26						65	58	325	38	0	↘		90	88	
		北沢タウンホール	9月2日		8/18～9/25						41	27	252	60	0	↘		85	78	
		北沢タウンホール	9月2日								39	33		22	0	↘		85	88	
		三茶しゃれなあどホール	1月25日		1/11～2/13						44	38	268	23	0	↘		92	90	
		三茶しゃれなあどホール	1月25日								38									
	せたがや福祉のしごと区内介護施設等見学会	集合	6月15日			16	14	88	◎		13	13		10	140	↗		92	85	
		集合	9月6日			14	14	100	◎		14	14		17	82	→		100	100	
		集合	10月12日			20	12	60	△		11	11		13	92	→		100	91	
		集合	2月1日			18	11	61	△		10	10		9	122	↗		100	90	
		集合	3月12日			16	12	75	○		12	12		9	133	↗		100	83	
	烏山3あんすこ合同いきいき講座	集合	9月27日			40	36	90	◎		38									
	人材確保・人事管理セミナー 第1回	集合・動画	6月26日	藤野和良	7/26~8/25	40	55	138	◎		12	集合12 動画20	86	128	43	↘	95	95	100	95
	人材確保・人事管理セミナー 第2回	集合・動画	9月5日	藤野和良	10/5~11/6	40	37	93	◎		4	集合4 動画27	104	21	176	↗	93	93	96	93
	経営力向上セミナー	動画		紀伊信之	8/31~9/29	40	48	120	◎			22	83				95	96	91	82
	訪問看護の就労支援講座 第1回	集合	6月24日			30	24	80	◎		22	22		31	77	↘				
	訪問看護の就労支援講座 第2回	集合	10月21日	小原正幸		30	40	133	◎		35	35		32	125	↗				
	訪問看護の就労支援講座 第3回	集合	12月16日	馬渕瑞生		30	32	107	◎		31	31		8	400	↗				
資格取得支援	介護に関する入門的研修	集合	9/5～10/6	センター長 区内特養職員		30	29	97	◎		24	24		20	145	↗				
	介護職員初任者研修　第1回	集合・ライブ	5/19～7/13			24	17	71	○	14				18	94	→				
	介護職員初任者研修　第2回	集合・ライブ	9/12～11/2			24	13	54	△	9				中止						
	同行援護従業者養成研修(一般課程)	集合	4/18～20	鈴木孝行 長岡雄一 木村仁美		20	33	165	◎		19	19		43	77	↘	95	100	85	85
	同行援護従業者養成研修(応用課程)	集合	5/15～16	長岡雄一 飯倉多恵子		20	10	50	△		9	9		18	56	↘	89	100	78	89
専門性向上 公開	世田谷区の目指す福祉講座	動画	公開	中村秀一		公開	公開					公開	239							
	Zoom初めてレッスン	動画	公開	センター職員		公開	公開					公開	28							
	感染症対策研修	動画	公開	森下幸子	6/19～3/31	公開	公開					公開	121							
	認知症とともに生きる希望条例・制度と動向	動画	公開	大熊由紀子他	10/10～3/31	公開	公開					公開	96							
	事例MANGAで学ぶよりよいケアの実現	動画	公開		4/1～3/31	公開	公開					公開	318							
	在宅療養講演会・シンポジウム	動画	公開	向山晴子他	10/16～3/31	公開	公開					公開	108							

	事業種別（高齢分野） 訪問介護	通所介護	居宅介護支援	地域包括	特養ホーム	老健施設	有料ホーム	グループホーム	小規模看多機	訪問看護	訪問リハ	通所リハ	短入所短療養	福祉用具	定・随訪問介	その他	事業種別（障害分野） 居宅介護	同行援護	行動援護	生活介護	自立訓練	就労支援	就継支援	地域支援	グループホーム	短期入所	発達支援	放課後デイ	相談支援	その他	職種別（高齢分野） 介護職	介護支援	生活相談	サ責	看護・保健師	機能リハ	歯科衛生	医師	栄養士	薬剤師	管理者	事務職	その他	職種別（障害分野） 管理者	生活支援	介護支援	就労支援	看護・保健師	歯科衛生	保育士	栄養士	機能リハ	事務職	その他	主マネ・登H	公表
福祉の理解	区民向け																区民向け																																								
人材発掘・就労支援																																																										
	6	2	4	6	2		1	1		5		1				療養通所介護 1				2							1				2	3	1	6	3	1					10		社福士等 3	2		1										○
	3	1	9		9	5				3						社協 1															11	6	1	5	1	1					5	1														○
	1	2	8							1		1				サ高住等 2	4		1								1				1	4	1	1							6	1	本部管理職 1	6														○
資格取得支援																																																										
専門性向上 公開																																																									○
																																																									○

				実施方法	実施日	講師名	動画視聴期間	定員	申込者数	申込割合%	評価	ライブ参加者数	集合参加者数	アンケート回収数	視聴回数	R4申込者数	前年度割合%	評価	アンケート評価(%) 理解度	満足度	気づき	活用度	事業種別(高齢分野) 訪問介護	通所介護	居宅介護支援	地域包括	特養ホーム	老健施設	有料ホーム	グルホ	小規模多機	訪問看護	訪問リハ	通所リハ	短入所短療養	福祉用具	定・随訪問介	その他		事業種別(障害分野) 居宅介護	同行援護	行動援護	生活介護	自立訓練	就労支援	就継支援	地域支援	グルホ	短期入所	発達支援	放課後デイ	相談支援	その他		職種別(高齢分野) 介護職	介護支援	生活相談	サ責	看護・保健師	機能リハ	歯科衛生	歯科医師	医師	栄養士	薬剤師	管理者	事務職	その他		職種別(障害分野) 管理者	生活支援	介護支援	就労支援	看護・保健師	歯科衛生	保育士	栄養士	機能リハ	事務職	その他		主マネ・登H	公表
専門性向上	共通		事業継続計画(BCP)の策定	動画		後藤武志	7/7～8/7	40	218	545	◎			123	458				98	98	99	94	7	3	67	15	4			1	3									5			5			1				3	4	2			3	47		4	2							38	3	社福士等	3	11		5		1		3							
		福祉職のキャリアアップ講座	【共通】「地域包括ケア」	集合・動画	11月20日	和気純子	11/27～12/25	40	26	65	△		4	集合4 動画17	56				100	87	94	68			4	3												区職員	4	1			2			1						5				3			2							2	1	ケースワーカー	4	2	3	2								相談支援	2		○
			【共通】「チームアプローチ」	集合・動画	12月6日	三木真生子	12/13～1/15	40	69	173	◎		9	動画34 集合9	100				100	97	97	100		1	11				2			2						区職員	6	2			7		2	2			1	3		1	入所支援	3	2	11	1		5								1	ケースワーカー	2	4	9	6		1		1							
			【共通】「リスクマネジメント」	動画		山田滋	2/15～3/14	70	52	74	○			35	122				100	100	100	100	5	2	4	2	4	1	2	1		2		2	1								3			2									14	5	1		3									社福士	1	1	1	3											
			【新任】「基本理念と倫理」	動画		三木真生子	11/17～12/15	40	45	113	◎			22	120				95	100	100	95	1		2	3					2							区職員	1				4	1	2	2					1	1	相談支援	1	3	1	1		2							1		ケースワーカー	1		6	6											○
			【新任】「相談援助・基礎」	集合・動画	1月24日	須藤昌寛	2/5～3/31	40	33	83	◎		6	集合5 動画15	64				100	100	100	100	1		3	7	1		1									区職員等	2	1												1	訪問看護	3		4	4	1	5								1			1				1						精保士	2		
			【新任】「キャリアデザイン」	集合	12月14日	増田直哉		40	11	28	×		9	9					100	100	100	100	1	1					6								1						2									1		3	3														3		2			2					1	ケースワーカー	6		
			【中堅】「相談援助・応用1」	ライブ・動画	2月6日	須藤昌寛	2/19～3/31	40	27	68	△	6		ライブ6 動画11	31				100	100	100	100	2		1	5	1	2										区職員	2													1	訪問看護	3	2	3	2	1	2								1	社福士	2					2						相談員等	2		
			【中堅】「キャリアデザイン」	集合	1月26日	増田直哉		40	37	93	◎		32	29					100	90	100	97	3	3	2	5	2		1			2						区職員	1				3		1				1			1	区職員	1	7	5		2	4									ケースワーカー	1		1	4								ケースワーカー	2		
			【リーダー】「相談援助・応用2」	集合・動画	2月21日	須藤昌寛	3/4～3/25	40	32	80	◎		8	集合8 動画9	34				100	100	100	100	1	1	4	3						1						区職員	2								1						訪問看護	3		4	2	1	2							1		社福士	2					1						社福士等	3		
			【リーダー】「キャリアデザイン」	ライブ	2月26日	増田直哉		40	21	53	△	17		8					100	88	100	100	1		1		1					1																	1				事務	1			1	1	1							1				1									1				○
			福祉職が学ぶリーダーシップ①	ライブ	8月9日	諏訪茂樹		36	32	89	◎	27		21		37	86	→	100	100	100	100	2	2	4	2	1			1	1	2						法人本部	3						1	1		1							4	5		1	3							1	3	社福士	1		2	1											○
			福祉職が学ぶリーダーシップ②	ライブ	9月7日	諏訪茂樹		36	31	86	◎	25		20		36	86	→	90	95	100	100	1	1	5	5	1	1			1	2						法人本部	1						1							1			4	7			3							1	1	社福士	2		1	1											○
			福祉職が学ぶリーダーシップ③	集合	10月25日	諏訪茂樹		36	30	83	◎		20	20		38	79	↘	100	100	100	90		1	3	2	1	2	2		3	3						法人本部	1						1		1								7	4			3								2	社福士	2		1	1											○
			信頼関係を築くための接遇・マナー向上(第1回)	ライブ	7月19日	蜂谷英津子		30	44	147	◎	32		23		33	133	↗	100	100	100	100	2		6	1	3		2		1	1											4					1				1			9	5										2				1	2	2								相談員	1		○
			信頼関係を築くための接遇・マナー向上(第2回)	ライブ	12月13日	蜂谷英津子		30	22	73	○	17		11		17	129	↗	100	91	91	91			3	1		1			1												3					1	1						2	3			1												1	4											
			対人援助技術　多職種連携	集合	5月24日	土屋典子		30	39	130	◎		31	20		37	105	↗	100	100	95	100	2		6	1	1	2						1		1				1					2						1	1	障害者就労支援セン	1	2	6	2	1		1								福祉用具専門相談	1 1		3	1	1							作業療法	1		●
			対人援助技術　利用者・家族①	ライブ	6月7日	諏訪茂樹		40	26	65	△	22		15		25	104	↗	100	100	100	100	2	1	5	2	1		1												1							1				1			5	5	2															1								精保士等	2		●
			対人援助技術　利用者・家族②	集合	7月5日	諏訪茂樹		40	30	75	○		21	21		28	107	↗	100	100	100	100	5	2	5	4	1																							1		1	緊急時バックアップセン	1	6	5	2	1	1							1		社福士	1	1										相談員等	2		●
			人権の理解促進(ハラスメント)	動画		外岡潤	12/26～1/26	150	157	105	◎			249	631	223	70	↘	99	95	99	90	13	43	45	9			1	7	1	96			2			法人本部	3				5	1	1				1				訪問看護	1	51				64	26						30	16	社福士等	5	8		1											○
			人権の理解促進(セクシュアルマイノリティ)	動画	6月13日	永易至文 佐々木宰	6/16～7/14	200	122	61	△			98	228	184	66	↘	99	98	98	89			76	13	1													3					2				1	1	1					63			2									管理者	25	2	3		2							ドライバー	1		○
			クレーム対応	集合	6月29日	蜂谷英津子		40	46	115	◎		35	34		28	164	↗	97	97	97	97	2	1	15	3		1				1		2						1			2		1					2		1			2	8	2		2							10	1			1		1								相談員等	4		○
			メンタルヘルス(グリーフサポート)	動画		石井千賀子 小嶋リベカ	12/15～1/22	40	155	388	◎			67	245	143	108	↗	99	97	99	91	6		21	14		1	1	2		2		1				サ高住	2	4			3		1			1	1			1	入所支援	1	5	22	1	2	8	1						8		社福士	3	3	4	4	1										○
			メンタルヘルス(依存症の基礎知識)	集合	8月24日	川瀬愛		40	59	148	◎		47	45		41	144	↗	98	98	89	72	2		14	5		1			1	2						未記入	10	1			1					1					未記入	2	4	23	1	1	3					1				社福士等	2	1		2								未記入	2		
			ヤングケアラー支援	集合・動画	1月29日	田中悠美子	2/9～3/8	40	49	123	◎		19	集合17 動画20	56	26	188	↗	100	100	100	82	1		22	7	1		1		1	1						成年後見	1													1				23	2		2							8														相談員	1		
	医福・福祉連携		医療・福祉連携　(世田谷区医師会)	動画		高野洋輔	2/5～3/4	70	177	253	◎			120	349	92	192	↗	98	99	99	93	3		83	15	2	2	1	1	1	3						小規模有料	1	2															6	75	1		4	1						19		社福士等	6	1				3					1	登録ヘルパー等	3		●
			医療・福祉連携　(玉川医師会)	ライブ・動画	1月24日	山口潔	2/7～3/6	70	118	169	◎	24		ライブ24 動画55	156	104	113	↗	99	100	100	100	2	4	53	8	2		2	1	1	4		1						1															7	50	1		3							14		社福士	2			1											●
			医療・福祉連携　(歯科医師会)	動画		百瀬智彦	2/22～3/21	70	81	116	◎			56	212	153	53	↘	98	100	100	95	10	1	34	6		1				1								1																																													●
			医療・福祉連携　(薬剤師会)	ライブ	2月20日	小林哲夫 水越淳友 原田由美子		70	124	177	◎	53		43		160	78	↘	98	98	100	95			9	1	1											薬局	13																													薬剤師	12														●
				動画			2/28～3/27							24	115				88	100	100	100	1		15	3				1		1						訪問マッサージ	1	2																17		1	1							2		鍼灸師	1	1		1											
			こころとからだの理解　1回目	動画	9/25～10/24	河合 恒	9/25～10/24	40	119	298	◎			67	229	90	132	↗	98	98	98	94	17	7	24	5	1	2		3	4	1						サ高住	1	1												1			25	24	2	2	2	3						4	1	社福士	2		1	1											●
			こころとからだの理解　2回目	動画	10/30～11/29	杉山 美香	10/30～11/29	80	95	119	◎			51	194	101	94	→	100	98	98	98	6		30	7	1		1		1	1		1						1					1							1			7	31	1		3	2						3		社福士	1		1	1								相談員	1		
			医ケア児への在宅医療を支える訪問看護　1日目	ライブ・動画	10月7日	中村知夫他	10/24～11/25	25	24	96	◎	1		ライブ1 動画10	43	43	56	↘	100	90	100	100										10							1				1											2					10	2								保育園等	11					2									○
			医ケア児への在宅医療を支える訪問看護　2日目	動画		横田益江他	11/27～12/26	40	14	35	×			3	17	24	58	↘	100	100	100	100										2							1																				1										1					1									○
			自宅で最期まで安心して暮らし続けるために①	動画		小原　正幸	12/20～1/19	70	100	143	◎			80	166	103	97	→	99	94	94	95																																																													
			自宅で最期まで安心して暮らし続けるために②	動画		馬渕　瑞生	1/29～2/28	70	72	103	◎			39	93	71	101	↗	100	95	98	100																																																													
	高齢		介護技術(新任)	集合	9月22日	堀口将		25	40	160	◎		7	7		13	308	↗	100	100	100	100	4	1			1											無職	1																6													無職	1														●
			介護技術(現任1)　再点検	集合	7月11日	堀口将		30	32	107	◎		27	27		19	168	↗	96	96	100	100	11	4			2	1															4		1			1	1		1		介護支援	1	14		1	2	2											2	3	4								生活相談員	1		●
			介護技術(現任2)フットケア	動画		菊池 守	5/25～6/26	80	81	101	◎			44	188	72	113	↗	100	100	100	96	13	4	2					1	4			1						16											1				14	2	1	3	1							1				1	1	15								ドライバー等	1		●
			介護技術(現任3)指導者養成	動画/集合	2月22日	北田信一	1/22～2/20	30	24	80	◎		13	13	60	15	160	↗	100	92	100	92	4	4			2			1	1									1															4	1	1	5								1				1													●

分野	区分	研修名	実施方法	実施日	講師名	動画視聴期間	定員	申込者数	申込割合%	評価	ライブ参加者数	集合参加者数	アンケート回収数	視聴回数	R4申込者数	前年度割合%	評価	理解度	満足度	気づき	活用度
専門性向上・高齢		食支援（血糖値1）	動画		村上奈央子	6/19～7/18	110	107	97	◎			66	233	53	202	↗	100	96	96	91
		食支援（血糖値2）	動画		村上奈央子	12/19～1/18	38	36	95	◎			15	131	24	150	↗	100	100	100	100
		食支援（フレイル予防1）	集合	7月26日	竹内洋子、米山久美子		24	16	67	△		14	14		84	19	↘	100	100	100	93
		食支援（フレイル予防2）	集合	7月26日	竹内洋子、米山久美子		24	10	42	×		7	7		26	38	↘	100	100	100	100
		食支援（食べやすい食事の工夫1）	集合	11月21日	竹内洋子、田口寿美子		24	12	50	△		8	7		15	80	→	100	100	100	100
		食支援（食べやすい食事の工夫2）	集合	11月21日	竹内洋子、田口寿美子		24	13	54	△		12	12		22	59	↘	100	100	100	83
		サービス提供責任者（新任）	動画		日比理恵、芳村裕子	9/28～10/27	30	36	120	◎			19	95	36	100	→	90	100	100	100
		サービス提供責任者（現任1）計画	動画		佐藤ちよみ	6/26～7/25	30	42	140	◎			18	155	40	105	↗	94	100	100	100
		サービス提供責任者（現任2）医療知識	集合	10月27日	大原昭江		30	25	83	◎		17	17		49	51	↘	100	100	100	94
		地域包括支援センター職員（管理者）	集合	11月28日	土屋典子		40	26	65	△		26	25		29	90	→	100	100	100	96
		地域包括支援センター職員（主マネ）	集合	1月11日	森川敦子		40	30	75	○		28	24		28	107	↗	96	96	100	92
		地域包括支援センター職員（社会福祉士）	集合	2月29日	井藤佳恵		40	28	70	○		28	21		35	80	→	100	100	100	100
		地域包括支援センター職員（保健師・看護師）	集合	1月30日	村山洋史		40	32	80	◎		32	27		32	100	→	89	96	100	85
		介護予防ケアマネジメント研修（新任）1日目	動画		区職員	6/30～7/21	40	34	85	◎			24	110	30	113	↗	96	100	100	100
		介護予防ケアマネジメント研修（新任）2日目	動画		村山洋史他	7/31～8/21	40	34	85	◎			32	141	30	113	↗	100	100	100	97
		介護予防ケアマネジメント研修（新任）3日目	集合	9月19日	あんすこ職員他		40	34	85	◎		29	28		30	113	↗	100	100	100	100
		介護予防ケアマネジメント研修（現任）1日目	動画		松原徹 他	10/13～10/27	30	18	60	△			17	40	25	72	↘	100	100	100	94
		介護予防ケアマネジメント研修（現任）2日目	集合	11月8日	リハ職 他		30	18	60	△		17	17		25	72	↘	100	100	100	80
		介護予防ケアマネジメント研修（現任）3日目	集合	1月23日	リハ職 他		30	18	60	△		17	15		25	72	↘	100	100	100	100
	ケアマネジャー研修	【共通】社会資源	動画			7/3～8/3	40	47	118	◎			37	120	68	69	↘	97	100	100	100
		【共通】役割理解	動画	5/22～6/22	山田美代子	5/22～6/22	40	56	140	◎			40	144	70	80	→	97	97	100	97
		【新任】基礎知識 1回目	動画・集合	7月13日	桑原典江	6/12～7/5	36	55	153	◎		35	35	146	42	131	↗	94	100	100	91
		【新任】基礎知識 2回目	動画・集合	11月17日	河野由香	10/6～11/6	36	42	117	◎		35	35	146	28	150	↗	91	100	100	94
		【現任】事例演習 1回目	動画・集合	11/24・12/20	新居順子	10/11～11/13	36	23	64	△		17	17	60	19	121	↗	100	100	100	100
		【現任】事例演習 2回目	動画・集合	1/15・2/14	江口志乃	12/11～1/9	36	25	69	△		17	17	60	26	96	→	94	100	100	100
		【共通】家族支援	集合	2月7日	山川誠司		40	30	75	○		22	20		81	37	↘	95	100	100	95
		【共通】ファシリテーション	ライブ	8月8日	福島喜代子		40	52	130	◎	38		33		47	111	↗	97	97	100	100
		【リーダー】リーダー養成	動画・集合	8/1 8/29 10/2 10/31 ①11/24 12/20 ②1/15 2/14	山田美代子 佐藤庸平	7/10～7/31	36	32	89	◎		26	26	162	39	82	→	100	100	100	100
		【リーダー】事例演習	集合	3月19日		2/22～3/18	30	13	43	×		8	8	13	12	108	↗	100	100	100	88
		【リーダー】主マネ	集合	3月8日	篠塚広一		40	56	140	◎		41	39		101	55	↘	100	100	97	92
		【リーダー】スーパービジョン	ライブ	3月12日	野村豊子		60	71	118	◎	43		43		95	75	↘	93	95	98	81
		【リーダー】コンプライアンス	ライブ	11月28日	後藤佳苗		80	88	110	◎	66		58		144	61	↘	98	100	100	100
		【リーダー】その根拠	ライブ	2月20日	石山麗子		60	46	77	○	25		21		72	64	↘	95	100	100	81
	認知症ケア研修	「医学的視点」	動画		遠矢純一郎	6/20～7/19	50	208	416	◎			112	583	208	100	→	99	100	99	94
		「制度と動向」	動画		大熊由紀子 永田久美子	5/23～6/22	50	117	234	◎			82	331	142	82	→	100	99	99	94
		「理念と視点」	動画		市川裕太	4/25～5/24	50	111	222	◎			74	423	107	104	↗	100	100	100	97
		「多職種連携によるチームケア」	集合	8月31日	村島久美子		40	30	75	○		21	21		74	41	↘	100	100	99	100
		「認知症の人と家族への支援」	動画		佐賀勝之	7/25～8/24	50	135	270	◎			72	282	85	159	↗	100	98	100	99
		「若年認知症」	動画		駒井由起子	10/18～11/20	50	104	208	◎			74	174	74	141	↗	99	100	99	81
		「権利擁護」	動画		松本俊一	9/14～10/13	50	140	280	◎			86	337	103	136	↗	100	100	100	94
		「アセスメント」	動画		石山麗子	1/30～3/1	40	36	90	◎			20	72	39	92	→	95	100	100	90
		「アセスメント 事例検討」	ライブ	2月5日	市川裕太		30	11	37	×		8	8		26	42	↘	100	100	100	100
		応用	動画		市川裕太	2/8～3/12 3/26～4/15	30	39	130	◎					39	100	→				

事業種別（高齢分野）・事業種別（障害分野）

研修名	訪問介護	通所介護	居宅介護支援	地域包括	特養ホーム	老健施設	有料ホーム	グルホ	小規模看多機	訪問看護	訪問リハ	通所リハ	短入所短療養	福祉用具	定・随訪問介	その他	居宅介護	同行援護	行動援護	生活介護	自立訓練	就労支援	就継支援	地域支援	グルホ	短期入所	発達支援	放課後デイ	相談支援	その他
食支援（血糖値1）	24	1	26	4	3			4	1		1						2													
食支援（血糖値2）	5	1	6	1						1							1													
食支援（フレイル予防1）	13		1																											
食支援（フレイル予防2）	6		1																											
食支援（食べやすい食事の工夫1）	7																													
食支援（食べやすい食事の工夫2）	11								1																					
サービス提供責任者（新任）	13									1							3		1											
サービス提供責任者（現任1）計画	13								1	1							3													
サービス提供責任者（現任2）医療知識	17																													
地域包括支援センター職員（管理者）				25																										
地域包括支援センター職員（主マネ）				24																										
地域包括支援センター職員（社会福祉士）				21																										
地域包括支援センター職員（保健師・看護師）				32																										
介護予防ケアマネジメント研修（新任）1日目			3	21																										
介護予防ケアマネジメント研修（新任）2日目			2	30																										
介護予防ケアマネジメント研修（新任）3日目			1	27																										
介護予防ケアマネジメント研修（現任）1日目			2	15																										
介護予防ケアマネジメント研修（現任）2日目			1	16																										
介護予防ケアマネジメント研修（現任）3日目			1	14																										
【共通】社会資源			26	8		1			2																					
【共通】役割理解			27	13																										
【新任】基礎知識 1回目			24	10		1																								
【新任】基礎知識 2回目			26	5	1		1		2																					
【現任】事例演習 1回目			15	1		1																								
【現任】事例演習 2回目			12	2			1		2																					
【共通】家族支援			14	6																										
【共通】ファシリテーション			26	4	2				1																					
【リーダー】リーダー養成			22	3					1																					
【リーダー】事例演習			8																											
【リーダー】主マネ			34	5																										
【リーダー】スーパービジョン			35	5			1		2																					
【リーダー】コンプライアンス			47	9		1	1		1																					
【リーダー】その根拠			16	4	1																									
「医学的視点」	26	7	47	9	2		1	7	3	1	2					医療機関 1	4	1			1									
「制度と動向」	23		28	20	3			1	1	3																	1		1	
「理念と視点」	26	5	28	5	2	1		4		2								1												
「多職種連携によるチームケア」	4	1	6	4	1	2			2							若年性認知症等 1														
「認知症の人と家族への支援」	14	6	29	7	1	3		2	3	1		2			1		2								1					
「若年認知症」	8	6	38	9			1	1	1	1		2				サ高住 1	1												1	訪問看護 1
「権利擁護」	8	6	40	19		2		3	2	3	1					サ高住等 2													1	
「アセスメント」		3	13	3																										
「アセスメント 事例検討」	1		4	2	1																									
応用																														

職種別（高齢分野）・職種別（障害分野）

研修名	介護職	介護支援	生活相談	サ責	看護・保健師	機能リハ	歯科衛生	歯科医師	医師	栄養士	薬剤師	管理者	事務職	その他	管理者	生活支援	介護支援	就労支援	看護・保健師	歯科衛生	保育士	栄養士	機能リハ	事務職	その他	主マネ・登H	公表
食支援（血糖値1）	19	19	1	9	5					3		7		ヘルパー 1		2											●
食支援（血糖値2）	2	5		2		1						4				1											●
食支援（フレイル予防1）	12			1										ヘルパー 1													●
食支援（フレイル予防2）	5	1												ヘルパー 1													●
食支援（食べやすい食事の工夫1）	5			1										ヘルパー 1													●
食支援（食べやすい食事の工夫2）	11																										●
サービス提供責任者（新任）	1			13												4											●
サービス提供責任者（現任1）計画	2			10		1						2			1	2											●
サービス提供責任者（現任2）医療知識	2			14								1															●
地域包括支援センター職員（管理者）		3			1							19		社福士 2													
地域包括支援センター職員（主マネ）		15			1							7		社福士 2													
地域包括支援センター職員（社会福祉士）		2			1							1		社福士 18													
地域包括支援センター職員（保健師・看護師）		1			24							1		社福士 1													
介護予防ケアマネジメント研修（新任）1日目		7	1		9									社福士 6													★
介護予防ケアマネジメント研修（新任）2日目		7			13									社福士 12													★
介護予防ケアマネジメント研修（新任）3日目			2		13									社福士 9													★
介護予防ケアマネジメント研修（現任）1日目		7			4							2		社福士 4													★
介護予防ケアマネジメント研修（現任）2日目		7			4							1		社福士 5													★
介護予防ケアマネジメント研修（現任）3日目		7			3							2		社福士 3													★
【共通】社会資源		30			4							1		社福士 2													☆
【共通】役割理解		27	2		3							4		社福士 4													☆
【新任】基礎知識 1回目		26	2		1							3		社福士 3													★
【新任】基礎知識 2回目		34	1		1							1		社福士 1													★
【現任】事例演習 1回目		17																									★
【現任】事例演習 2回目		17																									★
【共通】家族支援		12	1		2							1		社福士 4													★
【共通】ファシリテーション		29										5		社福士 1													☆
【リーダー】リーダー養成		26																									★
【リーダー】事例演習		8																									
【リーダー】主マネ		25										14															★
【リーダー】スーパービジョン		31										12															☆
【リーダー】コンプライアンス		52			2				1			10		社福士 2													☆
【リーダー】その根拠		18										3															★
「医学的視点」	37	42	3	3	6	1						10	1	社福士等 2		1	5										●
「制度と動向」	18	23	1	5	12	1						12	1	社福士等 6		1									音楽療法 1		●
「理念と視点」	27	27	1	4	5	1						7	1				1										●
「多職種連携によるチームケア」	8	8	1		3	1																					●
「認知症の人と家族への支援」	20	28	3	1	4	3							1	社福士等 3			2										●
「若年認知症」	12	40	1	2	6	1						7			1	1	1										●
「権利擁護」	13	41	2	4	6	3						9	1	社福士 7		1											●
「アセスメント」	3	12			2							1		社福士 1													●
「アセスメント 事例検討」	1	4		1	2																						●
応用																											●

			実施方法	実施日	講師名	動画視聴期間	定員	申込者数	申込割合%	評価	ライブ参加者数	集合参加者数	アンケート回収数	視聴回数	R4申込者数	前年度割合%	評価	アンケート評価(%)				事業種別(高齢分野)																事業種別(障害分野)														職種別(高齢分野)														職種別(障害分野)											主マネ・登H	公表
																		理解度	満足度	気づき	活用度	訪問介護	通所介護	居宅介護支援	地域包括	特養ホーム	老健施設	有料ホーム	グルホ	小規模看多機	訪問看護	訪問リハ	通所リハ	短入所短療養	福祉用具	定・随訪問介	その他	居宅介護	同行援護	行動援護	生活介護	自立訓練	就労支援	就継支援	地域支援	グルホ	短期入所	発達支援	放課後デイ	相談支援	その他	介護職	介護支援	生活相談	サ責	看護・保健師	機能リハ	歯科衛生	歯科医師	医師	栄養士	薬剤師	管理者	事務職	その他	管理者	生活支援	介護支援	就労支援	看護・保健師	歯科衛生	保育士	栄養士	機能リハ	事務職	その他		
専門性向上	高齢	認知症の緩和ケアに資する研修【前期】	ライブ・動画	7/7・9/22	西田敦志他	5/29～6/23	40	32	80	◎	22		14		38	84	→	79	100	100	93		1	9		1			2		1																					3	9				1						1															●
		認知症の緩和ケアに資する研修【後期】	ライブ・動画	12/8・2/28	西田敦志他	10/23～11/24	40	18	45	×	10		6		23	78	↘	100	83	100	83		1	1	1	1		1	1																							1	2	1		1							1															●
		高齢者虐待対応 第1回	集合・動画	12月12日	高橋智子	12/22～1/19	60	174	290	◎		62	動画88 集合57	280	418	42	↘	100	99	100	97	1	2	47	14	1			13	2	2		1			1	経費 1														訪問看護 1	8	49	3	2	9							11	2	社福士 2	1												
		高齢者虐待対応 第2回	ライブ	1月18日	下江佳代子		100	113	113	◎	86		77		281	40	↘	100	99	99	96		2	42	9			1			1																				訪問看護 1		36	2		4							12		社福士 1	1												
		高齢者虐待対応 第3回	ライブ・動画	2月13日	浜崎優子	2/22～3/21	100	123	123	◎	46		ライブ44 動画37	92	102	121	↗	100	98	98	95		1	57	16			1			2	1																			訪問看護 1		58	1		4	1						11		社福士 3	1												
		高齢者虐待対応 第4回	動画	2月29日	中村聡太郎	3/1～3/29	80	120	150	◎			82					99	99	100	99	6		69	4			2			1						訪問診療 1															3	72		2	2							14															
	高齢・障害	高齢・障害支援力向上「車いすの上手な活用法」	集合	5月12日	近野一浩		18	28	156	◎		24	24		89	31	↘	100	100	96	100	15	3			1			2																		2					17	1		2								1					2										●
		高齢・障害支援力向上「移乗介助とおむつの基礎」	集合	6月28日	柴田純和		24	38	158	◎		30	30		94	40	↘	100	100	100	100	19	3							1								4			3											21			2											1	4	2										●
		高齢・障害支援力向上「失語症の理解」	集合	10月16日	安保直子		20	16	80	◎		14	13		101	16	↘	100	100	100	100	3	1	3	1					2								1			1							1				5	3	1	1											2		1										●
		高齢・障害支援力向上「作業環境の工夫」	集合	11月9日	関典子 紫尾田リエ		20	8	40	×		7	7		34	24	↘	100	100	100	100	2	1							1														2				1				4														2	1											●
		高齢・障害支援力向上「嚥下障害の理解とケア」	集合	12月11日	安保直子 武谷祐里		30	36	120	◎		32	32		91	40	↘	100	100	100	99	13		1	1		1											2			10	1	2			1						14	1		1											1	10	4					1					●
		高齢・障害支援力向上「視覚障害の理解」	集合	2月13日	木村仁美		30	31	103	◎		25	25		127	24	↘	100	100	100	90	8		3	1						1								3		2	1				2			1	2		7	2	1	1	1							1				4	5				1		1				●
		障害福祉の理解　法制度	動画		朝日雅也	6/15-7/18	100	194	194	◎			127	433	225	86	→	96	96	98	87			84	19				1		1							8					1			1		2	1		ボランティア等 3	1	73		3	3	1						25		社福士等 3	4		7		1						音楽療法士等 4		●
		障害福祉の理解　精神	動画		白石弘巳	9/25-10/24	100	284	284	◎			177	549	172	165	↗	98	98	98	92	23	1	98	17	1	1	1		3								19	2		4			2		1			1		居宅介護支援等 4	23	90		1								27		社福士等 4	1	3	23							1	同行援護等 5		●
		障害福祉の理解　高齢障害者の支援	動画		中川邦仁丈	11/13-12/12	80	175	219	◎			131	315	184	95	→	95	96	98	88	3	1	89	26	1		3		1								2			2			1		2						3	90	1	1	2							22		社福士等 5	3	1	3										●
		障害福祉の理解　大人の発達障害	集合・ライブ動画	2月24日	加藤進昌	3/4-3/31	集合40 ライブ80	170	142	◎	16	17	集合ライブ30 動画63	401	119	143	↗	94	95	100	75	10		42	12			1	1		2		1				権利擁護 1	6			4			2		3				5	訪問看護 1	8	42	2	3	5			1				7		社福士等 2	3	3	12	1							相談員 1		●
		高次脳機能障害支援力向上 基本	動画		今村由美子 紫尾田リエ	7/3/-8/31	80	178	223	◎			120	331	208	86	→	99	99	100	96	2	5	79	17	2		1		5								2			1				1		1		1	1	失語症意思疎通 2	7	80	3		3							15	1	社福士等 2		1	3		1						相談員等 4		●
		高次脳機能障害支援力向上 応用	動画		長谷川幹	12/22-2/2	80	210	263	◎			135	445	136	154	↗	99	99	99	95	8	3	73	19		1	1	3	1	7							2			6					2	3		1	3	入所施設入所支援事業 2	10	69	1	3	6	3						20		社福士等 4		14	5										●
	障害	障害者施設職員職層(新任)	集合	9月25日	茨木尚子		40	16	40	×		11	11		21	76	↘	100	100	100	91																				2		1	4		2			2																		4	3				1				児童支援員等 3		○
		(障害児・障害者施設職員職層研修　初任者～3年まで)	動画			8/1-9/29							37	250				97	100	95	89	1																1			3		2	3		3		8	12		児発等 4	1															4	12	2			3		2		指導員等 13		○
		障害者施設職員職層(中堅)	集合	11月13日	茨木尚子		40	8	20	×		7	7		10	80	→	100	86	86	86																				1	1	3			2																				1	3	3										○
		(障害児・障害者施設職員職層研修　3年以上)	動画			10/2-11/30							8	88				88	100	100	88																				1	2						1	3		小児 1															4	1	1								児童指導員等 2		○
		障害者施設職員職層(障害児・者テーマ別)	動画		区職員	8/1-9/29							32	160				91	94	97	75																							2		1			29																	6		20		1		2				児童員等 3		
		障害児施設職員職層「発達障害の理解」	動画		湯汲英史 一松麻実子	9/1-10/31							39	254	28			97	98	95	97																						1			4		12	16	1	療育等 5															7	1	14				8		1		児童指導員等 8		○
		障害児施設職員職層「子どもの理解」	動画		園田巌	10/16-12/15							18	135				100	100	100	100										1															1		6	8	1	障害児保育 1												1			5	1	2				6				児童指導員等 3		○
		障害児施設職員職層「支援の実践1」	動画		鈴木さやか	11/1-1/5							23	116				96	100	96	81										1							2			5	1					1	5	4		障害者支援等 4						1									2	9	3				4				指導員等 4		○
		障害児施設職員職層「支援の実践2」	動画		山口聡美	12/1-1/31							16	126	12			100	100	100	88										1							1										4	9		多機能型事業所 1						1									3		6		1		2		2		指導員 1		○
		障害児施設職員職層「子ども施策等」	動画		福田雄亮	12/1-1/31							12	61	12			100	100	100	100																											4	7		多機能型事業所 1															2		5				1		2		指導員等 2		
		障害児施設職員職層(障害児・者テーマ別)	動画		野村江理子	11/22-1/19							25	489				100	100	100	100																				6		4	7		1		4	1		チャレンジ雇用 2															5	3	12				2		1		相談員等 2		○
		障害者施設職員支援力向上　虐待防止	動画		鈴木敏彦	10/13-11/13	40	45	113	◎			23	237	115	39	↘	100	91	96	96																	1			1	1		6	1	2		2	8	1																5	3	8	1			2				児童指導員等 4		○
			ライブ	11月29日				8	20	×	8		4		19	42	↘	100	100	100	100																							3					1																			1	2							心理士 1		○
		障害者施設職員支援力向上　支援計画	動画		小川陽	1/12-2/9	40	46	115	◎			26	128	33	139	↗	96	92	100	96																	2			5	2	5	5		1		1	3	1	不明 1															4	6	12				1				相談員等 2		○
			集合	2月21日				22	55	△		19	17		17	129	↗	100	100	100	100																	1			7	2	3	2					1		未記入 1																5	6								職業指導員等 6		○
	子ども	おでかけひろば見学会	集合	10/18～11/30			50	36	72	○		30	30		44	82	→		100	97																																																										
		おでかけひろば・ほっとステイ(テーマ別)第1回	集合	9月15日	中村智子		35	17	49	×		17	17		22	77	↘	100	100																																																												
		おでかけひろば・ほっとステイ(テーマ別)第2回	集合	1月29日	あんどうりす		35	28	80	◎		23	22		19	147	↗	96	96																																																														
		ひととき保育者バンク登録者	動画・書面	10/23～11/24	瀬上友見	10/23～11/24	65	48	74	○			35		47	102	↗	97	100																																																												
			令和5年度 合計				6471	8218			607	1087	5786	14905				98	98	98	94	474	153	1906	703	72	38	43	66	69	185	5	17	3	1	3	70	118	8	2	115	14	39	48	4	37	15	63	119	41	64	566	1810	73	133	328	59	0	1	1	4	0	485	41	229	117	139	253	10	18	0	37	1	9	4	106		
			令和4年度 合計				7313	8947			1314	504	5306	15629				98	98	97	93	541	102	2289	632	98	14	34	57	39	71	6	11	0	2	1	57	114	27	3	105	14	48	55	2	31	0	40	69	20	44	564	2275	83	139	203	27	5	2	0	3	21	559	32	141	44	89	247	12	43	1	30	4	7	9	38		
			実施方法	実施日	講師名	動画視聴期間	定員	申込者数	申込割合%	評価	ライブ参加者数	集合参加者数	アンケート回収数	視聴回数	R4申込者数	前年度割合%	評価	アンケート評価(%)				事業種別(高齢分野)																事業種別(障害分野)														職種別(高齢分野)														職種別(障害分野)											主マネ・登H	公表
																		理解度	満足度	気づき	活用度	訪問介護	通所介護	居宅介護支援	地域包括	特養ホーム	老健施設	有料ホーム	グルホ	小規模看多機	訪問看護	訪問リハ	通所リハ	短入所短療養	福祉用具	定・随訪問介	その他	居宅介護	同行援護	行動援護	生活介護	自立訓練	就労支援	就継支援	地域支援	グルホ	短期入所	発達支援	放課後デイ	相談支援	その他	介護職	介護支援	生活相談	サ責	看護・保健師	機能リハ	歯科衛生	歯科医師	医師	栄養士	薬剤師	管理者	事務職	その他	管理者	生活支援	介護支援	就労支援	看護・保健師	歯科衛生	保育士	栄養士	機能リハ	事務職	その他		

【参　考】　世田谷区福祉人材育成・研修センターと関係機関等関連図

～福祉職員が誇りや意欲をもって働き
誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けるために～

世田谷区
研修センター運営委員会（学識経験者、行政）
介護人材対策推進協議会

【連携】

せたがや
福祉区民学会

地域保健福祉審議会
障害者施策推進協議

教育・団体
小・中・高等学校
世田谷区内福祉系大学
せたがや福祉専門学校
シルバー人材センター
社会福祉協議会
ボランティア協会
らぷらす　　等

福祉人材育成・研修センター
研修センター検討会（事業者、行政）
福祉の理解：夏休み福祉体験　等
人材発掘：福祉のしごと入門講座、
相談・面接会、介護施設等紹介
人材育成：介護職員初任者研修
福祉講座　キャリアアップ講座
専門知識・技術向上研修
ケアマネジメント研修
医療・福祉連携研修　等
定着支援：福祉のしごと相談　等
情報提供、研修室貸出
研究事業：福祉の仕事の魅力向上・発信
シンポジウム　等

行　政
東京都
東京都人材センター
ハローワーク
産業振興公社
他自治体　　等

区　民　利用者・家族、
学生、若者、親世代、シニア

活動団体
地域デイ、サロン・ミニデイ
認知症カフェ、家族介護者教室、
子ども食堂、おでかけひろば　　等

事　業　者
介護サービスネットワーク
高齢・障害施設長会
グループホーム連絡会
小規模多機能事業者連絡会
訪問看護ステーション管理者会
自立支援協議会　　等

令和５年度　福祉人材確保・育成に関する調査・研究事業報告書
令和６年３月発行

発行　世田谷区福祉人材育成・研修センター
〒156-0043
東京都世田谷区松原 6-37-10　世田谷区立保健医療福祉総合プラザ１階
電話：03-6379-4280　　FAX：03-6379-4281
ホームページ：https://www.setagaya-jinzai.jp